

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >> 研究指導, 演習, 実験, TA・RAへの従事, 学会への参加, 投稿論文執筆, 学振への応募等多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム, 生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命とを感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

各専門種目の演習2

各専門種目の開設講義・農学特別講義Ⅲ・Ⅳ等

各専門種目の専攻実験2

各専門種目の演習1

各専門種目の開設講義・農学特別講義Ⅰ・Ⅱ等

各専門種目の専攻実験1

専門種目(分野)分属: 作物学・育種学・蔬菜花卉園芸学・果樹園芸学・雑草学・栽培システム学・品質設計開発学・品質評価学・植物生産管理学

農学専攻開設の科目

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募等

ダブルディグリープログラム

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム等

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

京都大学農学研究科 森林科学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >> 研究指導, 演習, 実験, TA・RAへの従事, 学会への参加, 学振への応募等を通しての多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム, 生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い, 画期的な技術革新を実現したり, 社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命とを感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし, 相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

各分野開設の講義Ⅱ、特論Ⅱ

各分野開設の演習2

各分野開設の実験2

各専攻開設の講義

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募等

各分野開設の講義Ⅰ、特論Ⅰ

各分野開設の演習1

各分野開設の実験1

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち, かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて, 社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ, その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

インターンシップ

ダブルディグリープログラム

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム等

京都大学農学研究科 応用生命科学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >> 研究指導, 演習, 実験, TA・RAへの従事, 学会への参加, 学振への応募等を通しての多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム, 生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い, 画期的な技術革新を実現したり, 社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命とを感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし, 相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

専攻共通の応用的講義
(各分野の担当)

各分野が開設する
「専攻演習2」

各分野が開設する
「専攻実験2」

応用生命科学
特論Ⅰ～Ⅳ
(他大学の講師)

多様な研究活動
・TA・RAへの従事
・学会での成果発表
・学振への応募
・寄附講座「産業微生物学」の設置

専攻共通の基礎的講義
(応用生命科学Ⅰ～Ⅵ)

各分野が開設する
「専攻演習1」

各分野が開設する
「専攻実験1」

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち, かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて, 社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ, その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム等

ダブルディグリープログラム

京都大学農学研究科 応用生物科学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >>

研究指導、演習、実験、TA・RAへの従事、学会参加、投稿論文執筆、学振への応募等多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム、生物の生産と利用、地域のレベルから地球規模にいたる環境保全、人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命と感ずる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

農林生物・
応用動物・
海洋生物系
各分野開設の講義

農林生物・応用動物・海洋
生物分野開設の演習2

農林生物・応用動物・海洋
生物分野開設の演習1

農林生物・応用動物・海洋
生物分野開設の実験2

農林生物・応用動物・海洋
生物分野開設の実験1

他専攻
開設の
講義

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募
・投稿論文執筆
・フィールド調査

ダブルディグリープログラム

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム等

京都大学農学研究科 地域環境科学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >> 研究指導, 演習, 実験, TA・RAへの従事, 学会参加, 投稿論文執筆, 学振への応募等の多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者をめし、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム, 生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命と感ずる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

各専門種目の演習2

各専門種目の特論および特別講義等

各専門種目の専攻実験2

各専門種目の演習1

各専門種目の特論および特別講義等

各専門種目の専攻実験1

専門種目(分野)分属: 比較農業論・熱帯農業生態学・土壌学・微生物環境制御学・生態情報開発学・施設機能工学・水資源利用工学・水環境工学・農村計画学・放射線管理学・農業システム工学・フィールドロボティクス・生物センシング工学

他専攻(他研究科含む)開設の講義

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募・投稿論文執筆等

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力を合わせもち、かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

プラットフォーム学卓越大学院プログラム

グローバル生存学大学院連携プログラム・政策のための科学プログラム等
森里海連環学教育プログラム

ダブルディグリープログラム

京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

- ・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
- ・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
- ・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >>

研究指導, 演習, フィールド調査, TA・RAへの従事, 学会への参加, 学会誌投稿論文の執筆, 学振への応募等を通しての多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い, 社会の持続的発展のためにとるべき諸施策を提案したり, 新しい認識枠組みを提起することを自らの使命と感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし, 相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

各分野開設の講義2(農業食料組織経営学2, 農業経営情報会計学2, 地域環境経済学2, 食料・環境政策学2, 森林政策学2, 開発ミクロ経済学2, 比較農史学2, 農学原論2)

各分野開設の専攻演習2(農業食料組織経営学, 農業経営情報会計学, 地域環境経済学, 食料・環境政策学, 森林経済政策学, 国際農村発展論, 比較農史学, 農学原論)

本専攻(および他専攻・他研究科)開設の講義

多様な研究活動
・TAへの従事
・学会への参加
・学振への応募等

各分野開設の講義1(農業食料組織経営学1, 農業経営情報会計学1, 地域環境経済学1, 食料・環境政策学1, 森林政策学1, 開発ミクロ経済学1, 比較農史学1, 農学原論1)

各分野開設の専攻演習1(農業食料組織経営学, 農業経営情報会計学, 地域環境経済学, 食料・環境政策学, 森林経済政策学, 国際農村発展論, 比較農史学, 農学原論)

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち, かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて, 社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ, その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・政策のための科学プログラム・プラットフォーム学卓越大学院プログラム

ダブルディグリープログラム

京都大学農学研究科 食品生物科学専攻

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

博士論文(複数の審査員による審査)

<< 博士研究 >>

研究指導, 演習, 実験, TA・RAへの従事, 学会への参加, 学振への応募等を通しての多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム, 生物の生産と利用, 地域のレベルから地球規模にいたる環境保全, 人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い, 画期的な技術革新を実現したり, 社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命とを感じる。

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし, 相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

修士論文(複数の審査員による審査)

研究論文

専攻開設の講義

・酵素化学特論 ・タンパク質工学特論 ・食品化学特論
・生物有機化学特論 ・天然物化学特論 ・食品工学特論
・代謝栄養学特論 ・健康科学特論 ・応用微生物学特論
・栄養生理学特論Ⅰ ・栄養生理学特論Ⅱ ・合成生物学特論
・食品生物科学特論Ⅰ～Ⅵ

多様な研究活動
・学振への応募等

・投稿論文執筆
・学会への参加
・TAへの従事等

ダブルディグリープログラム

研究科全専攻共通科目: 農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち, かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて, 社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ, その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

農学特別コース(英語で修了可能な学位プログラム)

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム等

D3
D2

D1

M2

M1

農学研究科ナンバリングコード

①課程コード：

G（大学院）

②開講部局等コード：

AGR（農学研究科）

③学科等コード

00（専攻共通）、01（農学専攻）、02（森林科学専攻）、03（応用生命科学専攻）、
04（応用生物科学専攻）、05（地域環境科学専攻）、06（生物資源経済学専攻）、
07（食品生物科学専攻）

④レベルコード

5（基礎的科目）、6（発展的科目）、7（応用的科目）、8（大学院共通科目）

⑤通し番号

学修要覧の科目コード4桁

⑥授業形態コード：

L（講義）、S（演習）、P（実習）、E（実験）、F（フィールドワーク）、G（卒業研究）、
O（その他）

⑦言語コード：

J（日本語）、E（英語）、B（日英バイリンガル）、O（その他外国語）

⑧学問分野コード：

別表のとおり。1 授業科目に3 つまで学問分野コードを付加。

※該当する分野コード等がない場合は、空白となっている。

別表 学問分野コード

分野	分科	コード
情報学 Informatics	情報学基礎 Principles of informatics	10
	計算基礎 Computing technologies	11
	人間情報学 Humaninformatics	12
	情報学フロンティア Frontiers of informatics	13
	地球環境学 Global Environmental studies	14
環境学 Environmental science	環境解析学 Environmental analyses and evaluation	15
	環境保全学 Environmental conservation	16
	環境創成学 Sustainable and environmental system development	17
	デザイン学 Design science	18
	生活科学 Human life science	19
複合領域 Complex systems	科学教育・教育工学 Science education/ Educational technology	20
	科学社会学・科学技術史 Sociology/History of science and technology	21
	文化財科学・博物館学 Cultural assets study and museology	22
	地理学 Geography	23
	社会・安全システム科学 Social/Safety system science	24
	人間医工学 Biomedical engineering	25
	健康・スポーツ科学 Health/Sports science	26
	子ども学 Childhood science	27
	エネルギー科学 Energy science	28
	生体分子科学 Biomolecular science	29
	脳科学 Brain sciences	30
	地域研究 Area studies	31
	ジェンダー Gender	32
	観光学 Tourism Studies	33
	哲学 Philosophy	34
人文学 Humanities	芸術学 Art studies	35
	文学 Literature	36
	言語学 Linguistics	37
	史学 History	38
	人文地理学 Human geography	39
	文化人類学 Cultural anthropology	40
	法学 Law	41
社会科学 Social sciences	政治学 Politics	42
	経済学 Economics	43
	経営学 Management	44
	社会学 Sociology	45
	心理学 Psychology	46
	教育学 Education	47
	外国語 Foreign language	48
	スポーツ実習 Sports practice	49
少人数科目 Seminars	ILASセミナー(教養・共通教育) Seminars in Liberal Arts and Sciences	50

分野	分科	コード
総合理工 Interdisciplinary science and engineering	ナノ・マイクロ科学 Nano/Micro science	51
	応用物理学 Applied physics	52
	量子ビーム科学 Quantum beam science	53
	計算科学 Computational science	54
	数学 Mathematics	55
数物系科学 Mathematical and physical sciences	天文学 Astronomy	56
	物理学 Physics	57
	地球惑星科学 Earth and planetary science	58
	プラズマ科学 Plasma science	59
	基礎化学 Basic chemistry	60
化学 Chemistry	複合化学 Applied chemistry	61
	材料化学 Materials chemistry	62
	神経科学 Neuroscience	63
総合生物 Biological Sciences	実験動物学 Laboratory animal science	64
	腫瘍学 Oncology	65
	ゲノム科学 Genome science	66
	生物資源保全学 Conservation of biological resources	67
	生物科学 Biological Science	68
生物学 Biology	基礎生物学 Basic biology	69
	人類学 Anthropology	70
	機械工学 Mechanical engineering	71
工学 Engineering	電気電子工学 Electrical and electronic engineering	72
	土木工学 Civil engineering	73
	建築学 Architecture and building engineering	74
	材料工学 Material engineering	75
	プロセス・化学工学 Process/Chemical engineering	76
	総合工学 Integrated engineering	77
	生産環境農学 Plant production and environmental agriculture	78
農学 Agricultural sciences	農芸化学 Agricultural chemistry	79
	森林園科学 Forest and forest products science	80
	水圏応用科学 Applied aquatic science	81
	社会経済農学 Agricultural science in society and economy	82
	農業工学 Agroengineering	83
	動物生産化学 Animal life science	84
	境界農学 Boundary agriculture	85
	薬学 Pharmacy	86
医歯薬学 Medicine, dentistry, and pharmacy	基礎医学 Basic medicine	87
	臨床医学 Clinical medicine	88
	境界医学 Boundary medicine	89
	社会医学 Society medicine	90
	内科系臨床医学 Clinical internal medicine	91
	外科系臨床医学 Clinical surgery	92
	歯学 Dentistry	93
	看護学 Nursing	94

農学専攻 (Division of Agronomy and Horticultural Science)

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
AA01	作物環境生理論	G	AGR	01	6	AA01	L	J	78
AA02	作物生産生態論	G	AGR	01	5	AA02	L	B	78
AA33	育種学特論	G	AGR	01	5	AA33	L	B	78
AA35	分子育種学特論	G	AGR	01	6	AA35	L	B	78
AA05	蔬菜花卉園芸学特論	G	AGR	01	5	AA05	L	J	78
AA06	園芸生産環境調節論	G	AGR	01	6	AA06	L	J	78
AA07	果樹園芸学特論	G	AGR	01	5	AA07	L	J	78
AA26	果樹生理学特論	G	AGR	01	6	AA26	L	B	78
AA95	雑草生態学特論	G	AGR	01	6	AA95	L	J	78
AA10	雑草学特論	G	AGR	01	5	AA10	L	J	78
AA11	栽培システム学特論	G	AGR	01	5	AA11	L	J	78
AA12	耕地生産生態論	G	AGR	01	6	AA12	L	J	78
AA13	品質設計開発学特論	G	AGR	01	5	AA13	L	J	79
AA14	品質評価学特論	G	AGR	01	5	AA14	L	J	79
AA15	植物生産技術論	G	AGR	01	6	AA15	L	J	78
AA16	植物生産管理学特論	G	AGR	01	5	AA16	L	J	78
AA21	農学特別講義Ⅰ	G	AGR	01	7	AA21	L	J	78
AA22	農学特別講義Ⅱ	G	AGR	01	7	AA22	L	J	78
AA23	農学特別講義Ⅲ	G	AGR	01	7	AA23	L	J	78
AA24	農学特別講義Ⅳ	G	AGR	01	7	AA24	L	J	78
AA25	農学特別講義Ⅴ	G	AGR	01	7	AA25	L	J	78
AA28	農学特別講義Ⅵ	G	AGR	01	7	AA28	L	J	78
AA29	農学特別講義Ⅶ	G	AGR	01	6	AA29	L	J	78
AA30	農学特別講義Ⅷ	G	AGR	01	7	AA30	L	J	78
AB10	作物学演習 1	G	AGR	01	5	AB10	S	B	78
AB11	作物学演習 2	G	AGR	01	6	AB11	S	B	78
AB12	育種学演習 1	G	AGR	01	5	AB12	S	B	78
AB13	育種学演習 2	G	AGR	01	6	AB13	S	B	78
AB14	蔬菜花卉園芸学演習 1	G	AGR	01	5	AB14	S	J	78
AB15	蔬菜花卉園芸学演習 2	G	AGR	01	6	AB15	S	J	78
AB16	果樹園芸学演習 1	G	AGR	01	5	AB16	S	B	78
AB17	果樹園芸学演習 2	G	AGR	01	6	AB17	S	B	78
AB18	雑草学演習 1	G	AGR	01	5	AB18	S	B	78
AB19	雑草学演習 2	G	AGR	01	6	AB19	S	B	78
AB20	栽培システム学演習 1	G	AGR	01	5	AB20	S	J	78
AB21	栽培システム学演習 2	G	AGR	01	6	AB21	S	J	78
AB22	品質設計開発学演習 1	G	AGR	01	5	AB22	S	J	79
AB23	品質設計開発学演習 2	G	AGR	01	6	AB23	S	J	79
AB24	品質評価学演習 1	G	AGR	01	5	AB24	S	B	79
AB25	品質評価学演習 2	G	AGR	01	6	AB25	S	B	79
AB26	植物生産管理学演習 1	G	AGR	01	5	AB26	S	J	78
AB27	植物生産管理学演習 2	G	AGR	01	6	AB27	S	J	78
AC28	作物学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC28	E	B	78
AC29	作物学専攻実験 2	G	AGR	01	5	AC29	E	B	78
AC30	育種学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC30	E	B	78
AC31	育種学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC31	E	B	78
AC32	蔬菜花卉園芸学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC32	E	J	78
AC33	蔬菜花卉園芸学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC33	E	J	78
AC34	果樹園芸学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC34	E	B	78
AC35	果樹園芸学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC35	E	B	78
AC36	雑草学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC36	E	J	78
AC37	雑草学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC37	E	J	78
AC38	栽培システム学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC38	E	J	78
AC39	栽培システム学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC39	E	J	78
AC40	品質設計開発学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC40	E	J	79
AC41	品質設計開発学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC41	E	J	79
AC42	品質評価学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC42	E	B	79
AC43	品質評価学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC43	E	B	79
AC44	植物生産管理学専攻実験 1	G	AGR	01	5	AC44	E	J	78
AC45	植物生産管理学専攻実験 2	G	AGR	01	6	AC45	E	J	78
AZ00	研究論文	G	AGR	01	6	AZ00	G	B	78, 79

森林科学専攻(Division of Forest and Biomaterials Science)

科目コード	科 目 名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
BA44	森林・人間関係学特論1	G	AGR	02	5	BA44	L	B	80
BA45	森林・人間関係学特論2	G	AGR	02	6	BA45	L	J	80
BA46	森林・人間関係学特論3	G	AGR	02	5	BA46	L	B	80
BA47	森林・人間関係学特論4	G	AGR	02	6	BA47	L	J	80
BA48	熱帯林環境学特論1	G	AGR	02	5	BA48	L	B	80
BA49	熱帯林環境学特論2	G	AGR	02	6	BA49	L	B	80
BD02	熱帯林環境学特論3	G	AGR	02	7	BD02	L	B	80
BD03	熱帯林環境学特論4	G	AGR	02	7	BD03	L	B	80
BD06	森林生態学特論	G	AGR	02	6	BD06	L	B	80
BD07	群集生態学特論	G	AGR	02	7	BD07	L	J	80
BA05	森林利用学特論Ⅰ	G	AGR	02	5	BA05	L	B	80
BA06	森林利用学特論Ⅱ	G	AGR	02	6	BA06	L	J	80
BA50	森林生物学特論1	G	AGR	02	5	BA50	L	J	80
BA51	森林生物学特論2	G	AGR	02	6	BA51	L	J	80
BA09	緑地環境デザイン学特論	G	AGR	02	5	BA09	L	J	80
BA10	緑地環境計画特論	G	AGR	02	6	BA10	L	J	80
BA11	山地保全学特論	G	AGR	02	5	BA11	L	B	80
BD08	森林水文学特論	G	AGR	02	7	BD08	L	B	80
BD09	生物環境物理学特論	G	AGR	02	7	BD09	L	J	80
BA12	流域災害制御論特論	G	AGR	02	6	BA12	L	J	80
BA52	生物材料設計学特論1	G	AGR	02	5	BA52	L	J	80
BA53	生物材料設計学特論2	G	AGR	02	6	BA53	L	J	80
BA54	生物材料設計学特論3	G	AGR	02	5	BA54	L	J	80
BA55	生物材料設計学特論4	G	AGR	02	6	BA55	L	J	80
BA56	林産加工学特論1	G	AGR	02	5	BA56	L	J	80
BA57	林産加工学特論2	G	AGR	02	6	BA57	L	J	80
BA58	林産加工学特論3	G	AGR	02	5	BA58	L	J	80
BA59	林産加工学特論4	G	AGR	02	6	BA59	L	J	80
BA79	生物繊維学Ⅰ	G	AGR	02	5	BA79	L	J	80
BA80	生物繊維学Ⅱ	G	AGR	02	6	BA80	L	B	80
BA60	樹木細胞学特論1	G	AGR	02	5	BA60	L	J	80
BA61	樹木細胞学特論2	G	AGR	02	6	BA61	L	J	80
BA96	複合材料化学特論1	G	AGR	02	6	BA96	L	J	80
BA97	複合材料化学特論2	G	AGR	02	6	BA97	L	J	80
BA62	生物材料化学特論1	G	AGR	02	5	BA62	L	J	80
BA63	生物材料化学特論2	G	AGR	02	6	BA63	L	J	80
BD12	森林生化学特論1	G	AGR	02	7	BD12	L	J	80
BD13	森林生化学特論2	G	AGR	02	7	BD13	L	J	80
BA13	森林情報学特論Ⅰ	G	AGR	02	5	BA13	L	J	80
BA14	森林情報学特論Ⅱ	G	AGR	02	6	BA14	L	J	80
BA15	森林育成学特論Ⅰ	G	AGR	02	5	BA15	L	J	80
BA16	森林育成学特論Ⅱ	G	AGR	02	6	BA16	L	J	80
BD04	材料生物学1	G	AGR	02	5	BD04	L	J	80
BD05	材料生物学2	G	AGR	02	6	BD05	L	J	80
BA66	生物機能材料学	G	AGR	02	5	BA66	L	J	80
BA67	循環材料創成学	G	AGR	02	5	BA67	L	J	80
BA68	居住圏環境共生学	G	AGR	02	5	BA68	L	B	80
BA89	木質構造科学Ⅰ	G	AGR	02	5	BA37	L	J	80
BA90	木質構造科学Ⅱ	G	AGR	02	6	BA38	L	J	80
BD01	機器分析概論	G	AGR	02	7	BD01	L	J	80
BA71	森林科学特別講義Ⅰ	G	AGR	02	8	BA71	L	J	80
BA72	森林科学特別講義Ⅱ	G	AGR	02	8	BA72	L	J	80
BA73	森林科学特別講義Ⅲ	G	AGR	02	8	BA73	L	J	80
BA74	森林科学特別講義Ⅳ	G	AGR	02	8	BA74	L	J	80
BA75	森林科学特別講義Ⅴ	G	AGR	02	8	BA75	L	J	80
BA76	森林科学特別講義Ⅵ	G	AGR	02	8	BA76	L	J	80
BA77	森林科学特別講義Ⅶ	G	AGR	02	8	BA77	L	J	80
BA78	森林科学特別講義Ⅷ	G	AGR	02	8	BA78	L	J	80
BA83	森林科学特別講義Ⅸ	G	AGR	02	7	BA83	L	J	80
BA84	森林科学特別講義Ⅹ	G	AGR	02	7	BA84	L	J	81
BA85	森林科学特別講義Ⅺ	G	AGR	02	7	BA85	L	J	82
BA86	森林科学特別講義Ⅻ	G	AGR	02	7	BA86	L	J	83
BA87	森林科学特別講義ⅩⅢ	G	AGR	02	7	BA87	L	J	84
BA88	森林科学特別講義ⅩⅣ	G	AGR	02	7	BA88	L	J	85
BB20	森林・人間関係学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB20	S	J	80
BB21	森林・人間関係学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB21	S	J	80
BB22	熱帯林環境学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB22	S	J	80
BB23	熱帯林環境学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB23	S	J	80
BB64	森林生態学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB64	S	J	80
BB65	森林生態学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB65	S	J	80
BB24	森林利用学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB24	S	J	80
BB25	森林利用学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB25	S	J	80
BB26	森林生物学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB26	S	J	80
BB27	森林生物学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB27	S	J	80
BB28	環境デザイン学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB28	S	J	80
BB29	環境デザイン学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB29	S	J	80
BB30	山地保全学演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB30	S	J	80
BB31	山地保全学演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB31	S	J	80
BB66	森林水文学専攻演習Ⅰ	G	AGR	02	5	BB66	S	B	80
BB67	森林水文学専攻演習Ⅱ	G	AGR	02	6	BB67	S	B	80

科目コード	科 目 名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
BB32	生物材料設計学演習 1	G	AGR	02	5	BB32	S	J	80
BB33	生物材料設計学演習 2	G	AGR	02	6	BB33	S	J	80
BB34	林産加工学演習 1	G	AGR	02	5	BB34	S	J	80
BB35	林産加工学演習 2	G	AGR	02	6	BB35	S	J	80
BB36	生物繊維学演習 1	G	AGR	02	5	BB36	S	J	80
BB37	生物繊維学演習 2	G	AGR	02	6	BB37	S	J	80
BB38	樹木細胞学演習 1	G	AGR	02	5	BB38	S	J	80
BB39	樹木細胞学演習 2	G	AGR	02	6	BB39	S	J	80
BB40	複合材料化学演習 1	G	AGR	02	5	BB40	S	J	80
BB41	複合材料化学演習 2	G	AGR	02	6	BB41	S	J	80
BB42	生物材料化学演習 1	G	AGR	02	5	BB42	S	J	80
BB43	生物材料化学演習 2	G	AGR	02	6	BB43	S	J	80
BB68	森林生化学演習 1	G	AGR	02	5	BB68	S	B	80
BB69	森林生化学演習 2	G	AGR	02	6	BB69	S	B	80
BB44	森林情報学専攻演習 1	G	AGR	02	5	BB44	S	J	80
BB45	森林情報学専攻演習 2	G	AGR	02	6	BB45	S	J	80
BB46	森林育成学専攻演習 1	G	AGR	02	5	BB46	S	J	80
BB47	森林育成学専攻演習 2	G	AGR	02	6	BB47	S	J	80
BB50	生物機能材料学演習 1	G	AGR	02	5	BB50	S	J	80
BB51	生物機能材料学演習 2	G	AGR	02	6	BB51	S	J	80
BB52	循環材料創成学演習 1	G	AGR	02	5	BB52	S	J	80
BB53	循環材料創成学演習 2	G	AGR	02	6	BB53	S	J	80
BB54	居住圏環境共生学演習 1	G	AGR	02	5	BB54	S	J	80
BB55	居住圏環境共生学演習 2	G	AGR	02	6	BB55	S	J	80
BB62	材料生物学演習 1	G	AGR	02	5	BB62	S	J	80
BB63	材料生物学演習 2	G	AGR	02	6	BB63	S	J	80
BB60	木質構造科学演習 1	G	AGR	02	5	BB56	S	J	80
BB61	木質構造科学演習 2	G	AGR	02	6	BB57	S	J	80
BC20	森林・人間関係学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC20	E	J	80
BC21	森林・人間関係学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC21	E	J	80
BC22	熱帯林環境学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC22	E	J	80
BC23	熱帯林環境学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC23	E	J	80
BC64	森林生態学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC64	S	J	80
BC65	森林生態学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC65	S	J	80
BC24	森林利用学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC24	E	J	80
BC25	森林利用学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC25	E	J	80
BC26	森林生物学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC26	E	J	80
BC27	森林生物学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC27	E	J	80
BC28	環境デザイン学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC28	E	J	80
BC29	環境デザイン学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC29	E	J	80
BC30	山地保全学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC30	E	J	80
BC31	山地保全学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC31	E	J	80
BC66	森林水文学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC66	E	B	80
BC67	森林水文学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC67	E	B	80
BC32	生物材料設計学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC32	E	J	80
BC33	生物材料設計学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC33	E	J	80
BC34	林産加工学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC34	E	J	80
BC35	林産加工学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC35	E	J	80
BC36	生物繊維学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC36	E	J	80
BC37	生物繊維学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC37	E	J	80
BC38	樹木細胞学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC38	E	J	80
BC39	樹木細胞学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC39	E	J	80
BC40	複合材料化学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC40	E	J	80
BC41	複合材料化学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC41	E	J	80
BC42	生物材料化学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC42	E	J	80
BC43	生物材料化学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC43	E	J	80
BC68	森林生化学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC68	E	B	80
BC69	森林生化学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC69	E	B	80
BC44	森林情報学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC44	E	J	80
BC45	森林情報学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC45	E	J	80
BC46	森林育成学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC46	E	J	80
BC47	森林育成学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC47	E	J	80
BC58	木材構造情報学専攻実験1	G	AGR	02	5	BC58	E	J	80
BC59	木材構造情報学専攻実験2	G	AGR	02	6	BC59	E	J	80
BC50	生物機能材料学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC50	E	J	80
BC51	生物機能材料学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC51	E	J	80
BC52	循環材料創成学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC52	E	J	80
BC53	循環材料創成学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC53	E	J	80
BC54	居住圏環境共生学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC54	E	J	80
BC55	居住圏環境共生学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC55	E	J	80
BC60	木質構造科学専攻実験 1	G	AGR	02	5	BC56	E	J	80
BC61	木質構造科学専攻実験 2	G	AGR	02	6	BC57	E	J	80
BZ01	インターンシップ	G	AGR	02	7	BZ01	P	J	80
BZ02	木造建築インターンシップ	G	AGR	02	7	BZ02	P	J	80
BZ00	研究論文	G	AGR	02	6	BZ00	G	B	80

応用生命科学専攻 (Division of Applied Life Sciences)

科目コード	科 目 名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
CA01	応用生命科学Ⅰ	G	AGR	03	5	CA01	L	J	79
CA02	応用生命科学Ⅱ	G	AGR	03	5	CA02	L	J	79
CA03	応用生命科学Ⅲ	G	AGR	03	5	CA03	L	J	79
CA04	応用生命科学Ⅳ	G	AGR	03	5	CA04	L	J	79
CA05	産業微生物学講義	G	AGR	03	6	CA05	L	J	79
CA06	応用生命科学Ⅴ	G	AGR	03	5	CA06	L	J	79
CA07	応用生命科学Ⅵ	G	AGR	03	5	CA07	L	B	79
CA08	生体機能物理化学講義	G	AGR	03	6	CA08	L	J	79
CA09	生物調節化学講義	G	AGR	03	6	CA09	L	J	79
CA10	分子生体触媒化学講義	G	AGR	03	6	CA10	L	J	79
CA11	植物栄養学講義	G	AGR	03	5	CA11	L	B	79
CA12	発酵生理及び醸造学講義	G	AGR	03	6	CA12	L	J	79
CA13	森林代謝機能化学講義	G	AGR	03	6	CA13	L	J	79
CA14	エネルギー変換細胞学講義	G	AGR	03	6	CA14	L	J	79
CA15	応用構造生物学講義	G	AGR	03	6	CA15	L	J	79
CA16	化学生態学講義	G	AGR	03	6	CA16	L	J	79
CA17	分子微生物科学講義	G	AGR	03	6	CA17	L	J	79
CA18	制御発酵学講義	G	AGR	03	6	CA18	L	J	79
CA19	生物機能制御化学講義	G	AGR	03	6	CA19	L	J	79
CA20	細胞生化学講義	G	AGR	03	6	CA20	L	J	79
CA21	生体高分子化学講義	G	AGR	03	6	CA21	L	J	79
CA22	植物遺伝子統御学講義	G	AGR	03	6	CA22	L	J	29
CA23	木質バイオマス変換化学講義	G	AGR	03	6	CA23	L	J	79
CA28	Applied Microbiology for Human Life	G	AGR	03	6	CA28	L	E	79
CA29	Advanced Applied Biochemistry	G	AGR	03	6	CA29	L	E	79
CA34	Applied Plant Sciences	G	AGR	03	6	CA34	L	E	79
CA24	応用生命科学特論Ⅰ	G	AGR	03	6	CA24	L	J	61
CA25	応用生命科学特論Ⅱ	G	AGR	03	6	CA25	L	J	79
CA26	応用生命科学特論Ⅲ	G	AGR	03	6	CA26	L	J	79
CA27	応用生命科学特論Ⅳ	G	AGR	03	6	CA27	L	J	68
CA32	応用生命科学特論Ⅴ	G	AGR	03	7	CA32	L	J	79
CA33	応用生命科学特論Ⅵ	G	AGR	03	7	CA33	L	J	79
CB17	細胞生化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB17	S	B	79
CB18	細胞生化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB18	S	B	79
CB19	生体高分子化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB19	S	J	79
CB20	生体高分子化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB20	S	J	79
CB21	生物調節化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB21	S	J	79
CB22	生物調節化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB22	S	J	79
CB23	化学生態学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB23	S	J	79
CB24	化学生態学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB24	S	J	79
CB25	植物栄養学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB25	S	B	79
CB26	植物栄養学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB26	S	B	79
CB29	発酵生理及び醸造学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB29	S	J	79
CB30	発酵生理及び醸造学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB30	S	J	79
CB31	制御発酵学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB31	S	B	79
CB32	制御発酵学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB32	S	B	79
CB33	生体機能物理化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB33	S	J	79
CB34	生体機能物理化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB34	S	J	79
CB35	生物機能制御化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB35	S	J	79
CB36	生物機能制御化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB36	S	L	79
CB27	エネルギー変換細胞学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB27	S	J	79
CB28	エネルギー変換細胞学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB28	S	J	79
CB37	応用構造生物学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB37	S	J	79
CB38	応用構造生物学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB38	S	J	79
CB39	分子生体触媒化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB39	S	B	79
CB40	分子生体触媒化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB40	S	B	79
CB41	分子微生物科学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB41	S	B	79
CB42	分子微生物科学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB42	S	B	79
CB43	森林圏遺伝子統御学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB43	S	J	29
CB44	森林圏遺伝子統御学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB44	S	J	29
CB45	森林代謝機能化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB45	S	B	79
CB46	森林代謝機能化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB46	S	B	79
CB47	木質バイオマス変換化学専攻演習 1	G	AGR	03	5	CB47	S	J	79
CB48	木質バイオマス変換化学専攻演習 2	G	AGR	03	6	CB48	S	J	79
CC17	細胞生化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC17	E	B	79
CC18	細胞生化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC18	E	B	79
CC19	生体高分子化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC19	E	J	79
CC20	生体高分子化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC20	E	J	79
CC21	生物調節化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC21	E	J	79
CC22	生物調節化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC22	E	J	79

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
CC23	化学生態学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC23	E	J	79
CC24	化学生態学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC24	E	J	79
CC25	植物栄養学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC25	E	B	79
CC26	植物栄養学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC26	E	B	79
CC29	発酵生理及び醸造学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC29	E	J	79
CC30	発酵生理及び醸造学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC30	E	J	79
CC31	制御発酵学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC31	E	B	79
CC32	制御発酵学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC32	E	B	79
CC33	生体機能物理化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC33	E	J	79
CC34	生体機能物理化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC34	E	J	79
CC35	生物機能制御化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC35	E	J	79
CC36	生物機能制御化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC36	E	J	79
CC27	エネルギー変換細胞学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC27	E	J	79
CC28	エネルギー変換細胞学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC28	E	J	79
CC37	応用構造生物学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC37	E	B	79
CC38	応用構造生物学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC38	E	B	79
CC39	分子生体触媒化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC39	E	B	79
CC40	分子生体触媒化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC40	E	B	79
CC41	分子微生物科学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC41	E	B	79
CC42	分子微生物科学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC42	E	B	79
CC43	森林圏遺伝子統御学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC43	E	J	29
CC44	森林圏遺伝子統御学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC44	E	J	29
CC45	森林代謝機能化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC45	E	B	79
CC46	森林代謝機能化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC46	E	B	79
CC47	木質バイオマス変換化学専攻実験 1	G	AGR	03	5	CC47	E	J	79
CC48	木質バイオマス変換化学専攻実験 2	G	AGR	03	6	CC48	E	J	79
CZ00	研究論文	G	AGR	03	6	CZ00	G	B	79

応用生物科学専攻 (Division of Applied Biosciences)

科目コード	科 目 名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
DA01	遺伝学特論Ⅰ	G	AGR	04	6	DA01	L	B	69
DA02	遺伝学特論Ⅱ	G	AGR	04	5	DA02	S	B	68
DA52	栽培植物進化ゲノム学	G	AGR	04	6	DA52	L	B	78
DA53	ゲノム情報解析学	G	AGR	04	5	DA53	L	B	66
DA05	植物病理学特論Ⅰ	G	AGR	04	5	DA05	S	B	78
DA06	植物病理学特論Ⅱ	G	AGR	04	5	DA06	L	J	78
DA45	昆虫社会生物学	G	AGR	04	6	DA45	L	B	85, 69
DA08	昆虫進化生態学	G	AGR	04	6	DA08	L	B	85, 69
DA09	昆虫生理学特論	G	AGR	04	8	DA09	L	J	85
DA50	海洋生物環境学特論Ⅰ	G	AGR	04	8	DA50	L	J	81
DA51	海洋生物環境学特論Ⅱ	G	AGR	04	8	DA51	L	J	81
DA12	海洋生物増殖学特論	G	AGR	04		DA12			
DA13	海洋資源生物学特論	G	AGR	04	5	DA13	S	J	81
DA14	海洋分子微生物学特論	G	AGR	04	6	DA14	L	E	81
DA15	海洋微生物生理学特論	G	AGR	04	6	DA15	L	J	81
DA55	水圏環境微生物学特論	G	AGR	04	6	DA55	L	J	81
DA48	海洋環境微生物学特論	G	AGR	04	6	DA48	L	J	81
DA18	海洋生物生産利用学特論	G	AGR	04	5	DA18	L	J	81
DA19	海洋生物化学特論	G	AGR	04	6	DA19	L	J	81
DA20	海洋生物機能学特論	G	AGR	04	6	DA20	L	J	81
DA58	海洋生物細胞工学特論	G	AGR	04	7	DA58	L	J	81
DA22	海洋生態学特論	G	AGR	04	5	DA22	L	J	81
DA23	動物遺伝育種学特論	G	AGR	04		DA23			
DA24	動物ゲノム学特論	G	AGR	04	7	DA24	L	J	84
DA25	生殖生物学特論	G	AGR	04	5	DA25	S	E	84
DA26	発生遺伝子工学特論	G	AGR	04	5	DA26	L	J	84
DA43	分子発生学特論	G	AGR	04	5	DA43	L	J	84
DA57	動物栄養学特論	G	AGR	04	6	DA57	L	J	84
DA28	動物代謝調節学特論	G	AGR	04	5	DA28	L	J	84
DA29	生体機構学特論	G	AGR	04	5	DA29	L	J	84
DA56	動物病態生理学特論	G	AGR	04	6	DA56	L	J	84
DA31	動物生産システム論	G	AGR	04	7	DA31	L	J	84
DA32	国際畜産技術学特論	G	AGR	04	7	DA32	L	J	84
DA49	昆虫科学特論	G	AGR	04	8	DA49	L	J	85
DA34	応用生物科学特別講義Ⅰ	G	AGR	04	6	DA34	L	J	81
DA35	応用生物科学特別講義Ⅱ	G	AGR	04	6	DA35	L	J	81
DA36	応用生物科学特別講義Ⅲ	G	AGR	04	6	DA36	L	J	81
DA40	応用生物科学特別講義Ⅳ	G	AGR	04	6	DA40	L	J	68, 69, 85
DA41	応用生物科学特別講義Ⅴ	G	AGR	04	5	DA41	L	J	78
DA42	応用生物科学特別講義Ⅵ	G	AGR	04	6	DA42	L	J	84
DA46	応用生物科学特別講義Ⅶ	G	AGR	04	5	DA46	L	J	84
DB18	植物遺伝学専攻演習 1	G	AGR	04	7	DB18	S	B	68
DB19	植物遺伝学専攻演習 2	G	AGR	04	7	DB19	S	B	68
DB20	栽培植物起原学専攻演習 1	G	AGR	04	5	DB20	P	B	78
DB21	栽培植物起原学専攻演習 2	G	AGR	04	5	DB21	P	B	78
DB22	植物病理学専攻演習 1	G	AGR	04	6	DB22	S	B	78
DB23	植物病理学専攻演習 2	G	AGR	04	6	DB23	S	B	78
DB24	昆虫生態学専攻演習 1	G	AGR	04	6	DB24	S	B	85, 69
DB25	昆虫生態学専攻演習 2	G	AGR	04	6	DB25	S	B	85, 69

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
DB26	昆虫生理学専攻演習 1	G	AGR	04	8	DB26	S	B	85
DB27	昆虫生理学専攻演習 2	G	AGR	04	8	DB27	S	B	85
DB38	海洋生物環境学演習 1	G	AGR	04	8	DB38	S	J	81
DB39	海洋生物環境学演習 2	G	AGR	04	8	DB39	S	J	81
DB40	海洋資源生物学演習 1	G	AGR	04	5	DB40	S	J	81
DB41	海洋資源生物学演習 2	G	AGR	04	6	DB41	S	J	81
DB42	海洋分子微生物学演習 1	G	AGR	04	5	DB42	S	J	81
DB43	海洋分子微生物学演習 2	G	AGR	04	6	DB43	S	J	81
DB44	海洋環境微生物学演習 1	G	AGR	04	6	DB44	S	J	81
DB45	海洋環境微生物学演習 2	G	AGR	04	6	DB45	S	J	81
DB46	海洋生物生産利用学演習 1	G	AGR	04	6	DB46	S	B	81
DB47	海洋生物生産利用学演習 2	G	AGR	04	6	DB47	S	B	81
DB48	海洋生物機能学演習 1	G	AGR	04	7	DB48	S	J	81
DB49	海洋生物機能学演習 2	G	AGR	04	7	DB49	S	J	81
DB28	動物遺伝育種学演習 1	G	AGR	04	5	DB28	S	J	84
DB29	動物遺伝育種学演習 2	G	AGR	04	7	DB29	S	J	84
DB30	生殖生物学演習 1	G	AGR	04	5	DB30	S	B	84
DB31	生殖生物学演習 2	G	AGR	04	5	DB31	S	B	84
DB32	動物栄養科学演習 1	G	AGR	04	6	DB32	S	J	84
DB33	動物栄養科学演習 2	G	AGR	04	6	DB33	S	J	84
DB34	生体機構学演習 1	G	AGR	04	5	DB34	S	J	84
DB35	生体機構学演習 2	G	AGR	04	6	DB35	S	J	84
DB36	畜産資源学演習 1	G	AGR	04	7	DB36	S	J	84
DB37	畜産資源学演習 2	G	AGR	04	7	DB37	S	J	84
DB50	里海生態保全学演習 1	G	AGR	04	6	DB50	L	J	81
DB51	里海生態保全学演習 2	G	AGR	04	6	DB51	L	J	81
DC18	植物遺伝学専攻実験 1	G	AGR	04	7	DC18	E	B	68
DC19	植物遺伝学専攻実験 2	G	AGR	04	7	DC19	E	B	68
DC20	栽培植物起原学専攻実験 1	G	AGR	04	6	DC20	E	B	78
DC21	栽培植物起原学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC21	E	B	78
DC22	植物病理学専攻実験 1	G	AGR	04	6	DC22	E	B	78
DC23	植物病理学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC23	E	B	78
DC24	昆虫生態学専攻実験 1	G	AGR	04	6	DC24	E	B	85, 69
DC25	昆虫生態学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC25	E	B	85, 69
DC26	昆虫生理学専攻実験 1	G	AGR	04	8	DC26	E	B	85
DC27	昆虫生理学専攻実験 2	G	AGR	04	8	DC27	E	B	85
DC38	海洋生物環境学専攻実験 1	G	AGR	04	8	DC38	E	J	81
DC39	海洋生物環境学専攻実験 2	G	AGR	04	8	DC39	E	J	81
DC40	海洋資源生物学専攻実験 1	G	AGR	04	5	DC40	E	J	81
DC41	海洋資源生物学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC41	E	J	81
DC42	海洋分子微生物学専攻実験 1	G	AGR	04	5	DC42	E	J	81
DC43	海洋分子微生物学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC43	E	J	81
DC44	海洋環境微生物学専攻実験 1	G	AGR	04	6	DC44	E	J	81
DC45	海洋環境微生物学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC45	E	J	81
DC46	海洋生物生産利用学専攻実験 1	G	AGR	04	7	DC46	E	J	81
DC47	海洋生物生産利用学専攻実験 2	G	AGR	04	7	DC47	E	J	81
DC48	海洋生物機能学専攻実験 1	G	AGR	04	7	DC48	E	J	81
DC49	海洋生物機能学専攻実験 2	G	AGR	04	7	DC49	E	J	81
DC28	動物遺伝育種学専攻実験 1	G	AGR	04	7	DC28	E	J	84
DC29	動物遺伝育種学専攻実験 2	G	AGR	04	7	DC29	E	J	84
DC30	生殖生物学専攻実験 1	G	AGR	04	5	DC30	S	B	84
DC31	生殖生物学専攻実験 2	G	AGR	04	5	DC31	S	B	84
DC32	動物栄養科学専攻実験 1	G	AGR	04	5	DC32	E	J	84
DC33	動物栄養科学専攻実験 2	G	AGR	04	5	DC33	E	J	84
DC34	生体機構学専攻実験 1	G	AGR	04	5	DC34	E	J	84
DC35	生体機構学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC35	E	J	84
DC36	畜産資源学専攻実験 1	G	AGR	04	7	DC36	E	J	84
DC37	畜産資源学専攻実験 2	G	AGR	04	7	DC37	E	J	84
DA44	魚類分類学特論	G	AGR	04		DA44			
DC50	里海生態保全学専攻実験 1	G	AGR	04	6	DC50	L	J	81
DC51	里海生態保全学専攻実験 2	G	AGR	04	6	DC51	L	J	81
DZ00	研究論文	G	AGR	04	6	DZ00	G	B	

地域環境科学専攻 (Division of Environmental Science and Technology)

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
EA01	比較資源環境学	G	AGR	05	6	EA01	L	J	85
EA02	比較農業論	G	AGR	05	6	EA02	L	J	85
EA09	熱帯農業生態学特論	G	AGR	05	7	EA09	L	E	85
EA10	熱帯作物立地論	G	AGR	05	7	EA10	L	B	85
EA11	土壌学特論	G	AGR	05	7	EA11	L	E	79, 85
EA12	生物地球化学	G	AGR	05	7	EA12	L	E	79, 85
EA13	微生物生態学特論	G	AGR	05	7	EA13	L	J	69, 78, 85
EA14	微生物制御科学	G	AGR	05	7	EA14	L	J	68, 78, 85
EA15	生態情報開発学特論	G	AGR	05	7	EA15	L	B	78
EA16	生態制御学特論	G	AGR	05	7	EA16	L	B	78
EA17	施設機能工学	G	AGR	05	5	EA17	L	J	73, 78
EA18	設計支援科学	G	AGR	05	7	EA18	L	B	73, 78
EA19	水資源利用工学	G	AGR	05	7	EA19	L	B	83
EA20	環境水理モデル化論	G	AGR	05	7	EA20	L	B	83
EA21	水環境工学	G	AGR	05	7	EA21	L	E	83
EA22	応用水文学	G	AGR	05	7	EA22	L	J	83
EA23	農村土地利用計画論	G	AGR	05	7	EA23	L	B	83
EA45	農村コミュニティ計画論	G	AGR	05	7	EA46	L	B	83
EA25	農業システム工学特論	G	AGR	05	7	EA25	L	B	83
EA48	生物資源エネルギー論	G	AGR	05	7	EA48	L	J	83
EA27	フィールドロボティクス特論	G	AGR	05	7	EA27	L	E	83
EA28	フィールドオートメーション論	G	AGR	05	6	EA28	L	E	83
EA47	生物センシング工学特論	G	AGR	05	6	EA40	L	B	83
EA30	農産物性論	G	AGR	05	6	EA30	L	E	83
EA31	環境放射線管理学	G	AGR	05	7	EA31	L	B	16
EA32	環境放射線応用工学	G	AGR	05	7	EA32	L	B	16
EB27	比較農業論演習 1	G	AGR	05	5	EB27	S	B	85
EB28	比較農業論演習 2	G	AGR	05	6	EB28	S	B	85
EB35	熱帯農業生態学演習 1	G	AGR	05	5	EB35	S	B	85
EB36	熱帯農業生態学演習 2	G	AGR	05	6	EB36	S	B	85
EB37	土壌学演習 1	G	AGR	05	5	EB37	S	E	79, 85
EB38	土壌学演習 2	G	AGR	05	6	EB38	S	E	79, 85
EB39	微生物環境制御学専攻演習 1	G	AGR	05	5	EB39	S	J	68, 78, 85
EB40	微生物環境制御学専攻演習 2	G	AGR	05	6	EB40	S	J	68, 78, 85
EB41	生態情報開発学演習 1	G	AGR	05	5	EB41	S	J	78
EB42	生態情報開発学演習 2	G	AGR	05	6	EB42	S	J	78
EB59	設計情報処理演習 1	G	AGR	05	6	EB59	S	J	73, 78
EB60	設計情報処理演習 2	G	AGR	05	6	EB60	S	J	73, 78
EB61	利水環境解析演習 1	G	AGR	05	5	EB61	S	B	83
EB62	利水環境解析演習 2	G	AGR	05	6	EB62	S	B	83
EB63	水環境工学演習 1	G	AGR	05	5	EB63	S	J	83
EB64	水環境工学演習 2	G	AGR	05	6	EB64	S	J	83
EB65	農村計画学演習 1	G	AGR	05	5	EB65	E	J	83
EB66	農村計画学演習 2	G	AGR	05	6	EB66	E	J	83
EB67	農業システム工学演習 1	G	AGR	05	5	EB67	L	B	83
EB68	農業システム工学演習 2	G	AGR	05	6	EB68	L	B	83
EB69	フィールドロボティクス演習 1	G	AGR	05	5	EB69	S	E	83
EB70	フィールドロボティクス演習 2	G	AGR	05	6	EB70	S	E	83
EB71	生物センシング工学演習 1	G	AGR	05	5	EB71	S	E	83
EB72	生物センシング工学演習 2	G	AGR	05	6	EB72	S	E	83
EB73	環境放射線管理演習 1	G	AGR	05	5	EB73	S	B	16
EB74	環境放射線管理演習 2	G	AGR	05	6	EB74	S	B	16
EC18	比較農業論実験 1	G	AGR	05	5	EC18	E	B	85
EC19	比較農業論実験 2	G	AGR	05	6	EC19	E	B	85
EC26	熱帯農業生態学専攻実験 1	G	AGR	05	5	EC26	E	B	85
EC27	熱帯農業生態学専攻実験 2	G	AGR	05	6	EC27	E	B	85
EC28	土壌学専攻実験 1	G	AGR	05	5	EC28	E	B	79, 85
EC29	土壌学専攻実験 2	G	AGR	05	6	EC29	E	B	79, 85
EC30	微生物環境制御学専攻実験 1	G	AGR	05	5	EC30	E	J	68, 78, 85
EC31	微生物環境制御学専攻実験 2	G	AGR	05	6	EC31	E	J	68, 78, 85
EC32	生態情報開発学専攻実験 1	G	AGR	05	5	EC32	E	J	78
EC33	生態情報開発学専攻実験 2	G	AGR	05	6	EC33	E	J	78
EC50	施設機能工学実験 1	G	AGR	05	5	EC50	E	J	73, 78
EC51	施設機能工学実験 2	G	AGR	05	6	EC51	E	J	73, 78
EC52	水資源利用工学実験 1	G	AGR	05	5	EC52	E	B	83
EC53	水資源利用工学実験 2	G	AGR	05	6	EC53	E	B	83
EC54	水環境工学実験 1	G	AGR	05	5	EC54	P	J	83

科目コード	科 目 名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
EC55	水環境工学実験 2	G	AGR	05	6	EC55	P	J	83
EC56	農村計画学実験 1	G	AGR	05	5	EC56	F	J	83
EC57	農村計画学実験 2	G	AGR	05	6	EC57	F	J	83
EC58	農業システム工学実験 1	G	AGR	05	5	EC58	E	B	83
EC59	農業システム工学実験 2	G	AGR	05	6	EC59	E	B	83
EC60	フィールドロボティクス実験 1	G	AGR	05	5	EC60	G	E	83
EC61	フィールドロボティクス実験 2	G	AGR	05	6	EC61	G	E	83
EC62	生物センシング工学実験 1	G	AGR	05	5	EC62	E	B	83
EC63	生物センシング工学実験 2	G	AGR	05	6	EC63	E	B	83
EC64	環境放射線管理学実験 1	G	AGR	05	5	EC64	E	B	16
EC65	環境放射線管理学実験 2	G	AGR	05	6	EC65	E	B	16
EA33	地域環境科学特別講義 I	G	AGR	05	7	EA33	L	J	80
EA34	地域環境科学特別講義 II	G	AGR	05	7	EA34	L	J	80
EA35	地域環境科学特別講義 III	G	AGR	05	7	EA35	L	J	80
EA36	地域環境科学特別講義 IV	G	AGR	05		EA36			
EA37	地域環境科学特別講義 V	G	AGR	05	7	EA37	L	J	85
EA41	地域環境科学特別講義 VI	G	AGR	05	7	EA41	L	J	79, 85
EA42	地域環境科学特別講義 VII	G	AGR	05	7	EA42	L	J	15
EA43	地域環境科学特別講義 VIII	G	AGR	05	7	EA43	L	J	83
EA46	地域環境科学特別講義 IX	G	AGR	05	7	EA46	L	J	83
EZ00	研究論文	G	AGR	05	7	EZ00	G	B	

生物資源経済学専攻 (Division of Natural Resource Economics)

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
FA41	農業食料組織経営学 1 A	G	AGR	06	6	FA41	L	J	82
FA42	農業食料組織経営学 1 B	G	AGR	06	6	FA42	L	J	82
FA43	農業食料組織経営学 2 A	G	AGR	06	6	FA43	L	J	82
FA44	農業食料組織経営学 2 B	G	AGR	06	6	FA44	L	J	82
FA45	農業経営情報会計学 1 A	G	AGR	06	6	FA45	L	J	82
FA46	農業経営情報会計学 1 B	G	AGR	06	6	FA46	L	J	82
FA47	農業経営情報会計学 2 A	G	AGR	06	6	FA47	L	J	82
FA48	農業経営情報会計学 2 B	G	AGR	06	6	FA48	L	J	82
FA49	地域環境経済学 1 A	G	AGR	06	6	FA49	L	B	82
FA50	地域環境経済学 1 B	G	AGR	06	6	FA50	L	B	82
FA51	地域環境経済学 2 A	G	AGR	06	6	FA51	L	B	82
FA52	地域環境経済学 2 B	G	AGR	06	6	FA52	L	B	82
FA53	食料・環境政策学 1 A	G	AGR	06	6	FA53	L	J	82
FA54	食料・環境政策学 1 B	G	AGR	06	6	FA54	L	J	82
FA55	食料・環境政策学 2 A	G	AGR	06	6	FA55	L	B	82
FA56	食料・環境政策学 2 B	G	AGR	06	6	FA56	L	B	82
FA57	森林政策学 1 A	G	AGR	06	6	FA57	L	J	43
FA58	森林政策学 1 B	G	AGR	06	6	FA58	L	J	43
FA59	森林政策学 2 A	G	AGR	06	6	FA59	L	J	43
FA60	森林政策学 2 B	G	AGR	06	6	FA60	L	J	43
FC12	国際農村発展論 1 A	G	AGR	06	6	FC12	L	B	82
FC13	国際農村発展論 1 B	G	AGR	06	6	FC13	L	B	82
FC14	国際農村発展論 2 A	G	AGR	06	6	FC14	L	B	82
FC15	国際農村発展論 2 B	G	AGR	06	6	FC15	L	B	82
FA65	比較農史学 1 A	G	AGR	06	6	FA65	L	J	82
FA66	比較農史学 1 B	G	AGR	06	6	FA66	L	J	82
FA67	比較農史学 2 A	G	AGR	06	6	FA67	L	J	82
FA68	比較農史学 2 B	G	AGR	06	6	FA68	L	J	82
FA69	農学原論 1 A	G	AGR	06	6	FA69	L	J	82
FA70	農学原論 1 B	G	AGR	06	6	FA70	L	J	82
FA71	農学原論 2 A	G	AGR	06	6	FA71	L	J	82
FA72	農学原論 2 B	G	AGR	06	6	FA72	L	J	82
FA73	比較農業経営論A	G	AGR	06	7	FA73	L	J	82
FA74	比較農業経営論B	G	AGR	06	7	FA74	L	J	82
FA75	アグリビジネス分析論A	G	AGR	06	7	FA75	L	J	82
FA76	アグリビジネス分析論B	G	AGR	06	7	FA76	L	J	82
FA77	農業会計学方法論A	G	AGR	06	7	FA77	L	J	82
FA78	農業会計学方法論B	G	AGR	06	7	FA78	L	J	82
FA79	地域資源経済論A	G	AGR	06	7	FA79	L	J	82
FA80	地域資源経済論B	G	AGR	06	7	FA80	L	J	82
FA81	農政分析学A	G	AGR	06	7	FA81	L	J	82
FA82	農政分析学B	G	AGR	06	7	FA82	L	J	82
FA83	森林資源経済学A	G	AGR	06	7	FA83	L	B	43
FA84	森林資源経済学B	G	AGR	06	7	FA84	L	B	43
FC26	開発ミクロ経済学A	G	AGR	06	5	FC26	L	B	82
FC27	開発ミクロ経済学B	G	AGR	06	5	FC27	L	B	82
FA87	比較経済史A	G	AGR	06	7	FA87	L	J	82
FA88	比較経済史B	G	AGR	06	7	FA88	L	J	82
FA89	比較農村社会学A	G	AGR	06	7	FA89	L	J	82
FA90	比較農村社会学B	G	AGR	06	7	FA90	L	J	82
FC07	国際食農研究特論	G	AGR	06	7	FC07	L	E	82
FC16	定性研究デザイン特論	G	AGR	06	5	FC16	L	E	82
FC17	質的調査方法論	G	AGR	06	5	FC17	L	E	82
FA99	比較農史学特論IA	G	AGR	06	5	FA99	L	J	82
FA93	リスク管理特論A	G	AGR	06	7	FA93	L	J	82
FA94	リスク管理特論B	G	AGR	06	7	FA94	L	J	82
FA28	食料・農業経済情報特論	G	AGR	06	7	FA28	L	J	82
FA95	生物資源経済学特別講義IA	G	AGR	06	7	FA95	L	J	82
FA96	生物資源経済学特別講義IB	G	AGR	06	7	FA96	L	J	82
FC01	生物資源経済学特別講義IIA	G	AGR	06	7	FC01	L	J	82
FC28	生物資源経済学特別講義IIB	G	AGR	06	7	FC28	L	J	82
FC03	生物資源経済学特別講義IIIA	G	AGR	06	7	FC03	L	J	82
FC04	生物資源経済学特別講義IIIB	G	AGR	06	7	FC04	L	J	82
FC05	生物資源経済学特別講義IVA	G	AGR	06	7	FC05	L	J	82
FC06	生物資源経済学特別講義IVB	G	AGR	06	7	FC06	L	J	82
FC08	生物資源経済学特別講義VA	G	AGR	06	7	FC08	L	E	82
FC09	生物資源経済学特別講義VB	G	AGR	06	7	FC09	L	E	82
FC10	生物資源経済学特別講義VIA	G	AGR	06	7	FC10	L	E	82
FC11	生物資源経済学特別講義VIB	G	AGR	06	7	FC11	L	E	82
FC18	生物資源経済学特別講義VIIA	G	AGR	06	7	FC18	L	E	82

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
FC19	生物資源経済学特別講義ⅦB	G	AGR	06	7	FC19	L	E	82
FC20	生物資源経済学特別講義ⅦA	G	AGR	06	7	FC20	L	E	82
FC21	生物資源経済学特別講義ⅦB	G	AGR	06	7	FC21	L	E	82
FC24	生物資源経済学特別講義ⅨA	G	AGR	06	7	FC24	L	B	82
FC25	生物資源経済学特別講義ⅨB	G	AGR	06	7	FC25	L	B	82
FB21	農業食料組織経営学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB21	S	J	82
FB22	農業食料組織経営学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB22	S	J	82
FB23	農業経営情報会計学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB23	S	J	82
FB24	農業経営情報会計学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB24	S	J	82
FB25	地域環境経済学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB25	S	J	82
FB26	地域環境経済学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB26	S	J	82
FB27	食料・環境政策学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB27	S	J	82
FB28	食料・環境政策学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB28	S	J	82
FB29	森林経済政策学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB29	S	J	43
FB30	森林経済政策学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB30	S	J	43
FB31	国際農村発展論専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB31	S	B	82
FB32	国際農村発展論専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB32	S	B	82
FB33	比較農史学専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB33	S	J	82
FB34	比較農史学専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB34	S	J	82
FB35	農学原論専攻演習 1	G	AGR	06	6	FB35	S	J	82
FB36	農学原論専攻演習 2	G	AGR	06	6	FB36	S	J	82
FZ00	研究論文	G	AGR	06	6	FZ00	G	B	82

食品生物科学専攻 (Division of Food Science and Biotechnology)

科目コード	科目名	①課程	②開講部局	③学科	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
GA22	酵素化学特論	G	AGR	07	5	GA22	L	B	79
GA23	タンパク質工学特論	G	AGR	07	5	GA23	L	J	79
GA24	食品化学特論	G	AGR	07	5	GA24	L	B	79
GA25	生物有機化学特論	G	AGR	07	5	GA25	L	J	79
GA26	天然物化学特論	G	AGR	07	5	GA26	L	J	79
GA27	代謝栄養学特論	G	AGR	07	5	GA27	L	J	79
GA28	健康科学特論	G	AGR	07	5	GA28	L	J	79
GA29	栄養生理学特論 I	G	AGR	07	5	GA29	L	J	79
GA30	栄養生理学特論 II	G	AGR	07	5	GA30	L	J	79
GA34	生物工学特論	G	AGR	07	6	GA31	L	J	79
GA32	応用微生物学特論	G	AGR	07	5	GA32	L	J	79
GA33	合成生物学特論	G	AGR	07	5	GA33	L	J	79
GA14	食品生物科学特論 I	G	AGR	07	6	GA14	L	J	79
GA15	食品生物科学特論 II	G	AGR	07	6	GA15	L	J	79
GA16	食品生物科学特論 III	G	AGR	07	6	GA16	L	J	79
GA17	食品生物科学特論 IV	G	AGR	07	6	GA17	L	J	79
GA18	食品生物科学特論 V	G	AGR	07	6	GA18	L	J	79
GA19	食品生物科学特論 VI	G	AGR	07	6	GA19	L	J	79
GB09	酵素化学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB09	S	J	79
GB10	酵素化学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB10	S	J	79
GB25	食品化学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB25	S	J	79
GB26	食品化学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB26	S	J	79
GB13	生命有機化学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB13	S	J	79
GB14	生命有機化学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB14	S	J	79
GB15	栄養化学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB15	S	J	79
GB16	栄養化学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB16	S	J	79
GB17	食品分子機能学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB17	S	J	79
GB18	食品分子機能学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB18	S	J	79
GB19	食品生理機能学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB19	S	J	79
GB20	食品生理機能学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB20	S	J	79
GB21	農産製造学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB21	S	J	79
GB22	農産製造学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB22	S	J	79
GB23	生物機能変換学専攻演習 1	G	AGR	07	5	GB23	S	J	79
GB24	生物機能変換学専攻演習 2	G	AGR	07	6	GB24	S	J	79
GC09	酵素化学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC09	E	J	79
GC10	酵素化学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC10	E	J	79
GC25	食品化学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC25	E	J	79
GC26	食品化学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC26	E	J	79
GC13	生命有機化学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC13	E	J	79
GC14	生命有機化学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC14	E	J	79
GC15	栄養化学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC15	E	J	79
GC16	栄養化学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC16	E	J	79
GC17	食品分子機能学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC17	E	J	79
GC18	食品分子機能学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC18	E	J	79
GC19	食品生理機能学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC19	E	J	79
GC20	食品生理機能学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC20	E	J	79
GC21	農産製造学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC21	E	J	79
GC22	農産製造学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC22	E	J	79
GC23	生物機能変換学専攻実験 1	G	AGR	07	5	GC23	E	J	79
GC24	生物機能変換学専攻実験 2	G	AGR	07	6	GC24	E	J	79
GZ00	研究論文	G	AGR	07	6	GZ00	G	B	79

全専攻対象英語専門講義

科目コード	科目名	課程	開講部局	学科	レベル	通し番号	授業形態	言語	学問分野
Y003	比較農業論特論 3	G	AGR	00	8	Y003	L	E	85
Y017	比較農業論特論 4	G	AGR	00	8	Y017	L	E	85
Y005	比較農業論特論 5	G	AGR	00	8	Y005	L	E	85
Y018	比較農業論特論 6	G	AGR	00	8	Y018	L	E	85
Y007	比較農業論特論 7	G	AGR	00	8	Y007	L	E	85
Y008	比較農業論特論 8	G	AGR	00	8	Y008	L	E	85

全専攻留学生対象科目

科目コード	科目名	課程	開講部局	学科	レベル	通し番号	授業形態	言語	学問分野
Z002	日本の農業と環境	G	AGR	00	8	Z002	L	E	85
Z005	比較農業論特論 3	G	AGR	00	8	Z005	L	E	85
Z019	比較農業論特論 4	G	AGR	00	8	Z019	L	E	85
Z007	比較農業論特論 5	G	AGR	00	8	Z007	L	E	85
Z009	比較農業論特論 7	G	AGR	00	8	Z009	L	E	85
Z007	比較農業論特論 5	G	AGR	00	8	Z007	L	E	85
Z010	比較農業論特論 8	G	AGR	00	8	Z010	L	E	85

農学特別コース

(Special Course in Agricultural Sciences - For the Global Future of Life, Food and the Environment -)

科目コード	科目名	課程	開講部局	学科	レベル	通し番号	授業形態	言語	学問分野
S001	Scientific Communication 1	G	AGR	00	8	S001	L	E	20
S003	Scientific Communication 2	G	AGR	00	8	S003	L	E	20
S005	Sustainable Agriculture: A Cross-Cultural Perspective	G	AGR	00	8	S005	L	E	78

「人間の安全保障」開発共通科目

(AUN-KU Student Mobility Program toward Human Security Development)

科目コード	科目名	課程	開講部局	学科	レベル	通し番号	授業形態	言語	学問分野
W001	人間の安全保障特論 <Human Security Development>	G	AGR	00	8	W001	L	E	77, 85, 90
W002	東南アジア地域論 <Southeast Asian Studies>	G	AGR	00	8	W002	L	E	31

「人間の安全保障」開発連携教育ユニット共通科目

(AUN-KU Student Mobility Program toward Human Security Development)

科目コード	科目名	課程	開講部局	学科	レベル	通し番号	授業形態	言語	学問分野
U001	ユネスコチェアフィールドワーク：水と森と社会 (UNESCO Chair Fieldwork : Water, Forest and Society)	G	AGR	00	8	U001	F	B	80

農学研究科

2023年度 アカデミックカレンダー

【前期】

2023年

4月 1日 (土)	学 年 始 ま り
4月 3日 (月)	調 整 期 間 I
4月 7日 (金)	
4月 7日 (金)	
4月 10日 (月)	入 学 式
4月 10日 (月)	前 期 授 業 開 始
6月 18日 (日)	創 立 記 念 日
7月 21日 (金)	前 期 授 業 終 了
7月 24日 (月)	前 期 試 験 フィードバック期間
8月 4日 (金)	
8月 5日 (土)	
9月 30日 (土)	夏 季 休 業

【後期】

2023年

10月 1日 (日)	後 期 始 ま り
10月 2日 (月)	後 期 授 業 開 始
10月 7日 (土)	入 学 式 (秋 入 学)
11月 22日 (水)	11 月 祭
11月 26日 (日)	
12月 29日 (金)	
2024年	冬 季 休 業
1月 3日 (水)	休 講 等 に よ る 振替授業実施可能日 [授 業 休 止 ※ 1]
1月 4日 (木)	
[1月 12日 (金)]	
1月 23日 (火)	後 期 授 業 終 了
1月 24日 (水)	後 期 試 験 フィードバック期間
2月 6日 (火)	
2月 7日 (水)	
3月 31日 (日)	調 整 期 間 II
3月 25日 (月)	学 位 授 与 式
3月 31日 (日)	学 年 終 わ り

※1：大学入学共通テストで使用する建物内の教室で実施する授業は、1/12(金)に休講となるため、その振替の授業については1/19(金)に実施されます。

○調整期間Ⅰ：ガイダンス・特別講義等を実施します。

調整期間Ⅱ：特別講義・論文発表会等を実施します。

○6/18(創立記念日)は、京都大学通則で休業日と定められているため、授業休止となります。

○11月祭期間は、授業を休止します。

○休止日については、KULASIS・掲示等によりお知らせします。

科目ナンバリング		G-AGR02 7BZ02 PJ80									
授業科目名 <英訳>		木造建築インターンシップ Internship in wood structure				担当者所属・ 職名・氏名		生存圏研究所 教授 五十田 博 生存圏研究所 准教授 中川 貴文			
配当 学年	1回生以上	単位数	4	開講年度・ 開講期	2023・ 通年	曜時限	その他	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
企業（建築構造設計事務所 事務所登録された、一級建築士事務所）に約4週（160時間）間通い、構造設計の実践の場においてその補助作業を行う。企業の選定にあたっては担当教員がインターンシップを推薦する企業名簿を作成しそれを基準としながら、学生と相談のうえ決定する。インターンシップは大学での講義とは違い社会人としての技術の実践の場である。その意味で単なる知識ではなくそれらを生かす技能を習得する。具体的には構造設計の役割、倫理感、法対応、設計者対応、クライアント対応、構造計算書の作り方、等を間接的にではあるが習得する。											
【到達目標】											
学外で技術を実践していく上で社会人としての最低限のマナーを習得する。更に構造設計事務所及びその作業内容の具体的な内容を建築設計の実務経験が豊富な一級建築士の指導を受け実感として学びとる。具体的には構造設計の役割、倫理感、法対応、設計者との対応、構造計算書の作り方等である。											
【授業計画と内容】											
インターンシップ担当企業に下記の内容の中から2つ程度までは習得できるように関連作業への従事をお願いする。 構造設計の進め方について 設計事務所との打ち合わせなどに必要な構造モデル、模型、必要な書類、図面づくり 構造計算書の作成に必要なデータや諸条件の整理 構造計算書の元となる構造計算プログラムを用いた入力 構造に関わる特記仕様書の作成 授業内容の典型的な例を以下に示す。 第1回 構造計算書作成の要点（建物概要）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第2回 構造計算書作成の要点（荷重外力）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第3回 構造計算書作成の要点（応力計算）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第4回 構造計算書作成の要点（断面算定）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第5回 構造計算書作成の要点（基礎杭等の検討）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第6回 構造計算書作成の要点（使用上の支障に関する検討）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第7回 構造計算書作成の要点（層間変形角、剛性率、偏心率等）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第8回 構造計算書作成の要点（保有水平耐力）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第9回 構造計算書作成の要点（屋根ふき材等の検討）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第10回 構造計算書作成の事例（構造計算概要書）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第11回 構造計算書作成の事例（仮定荷重）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第12回 構造計算書作成の事例（2次部材の検討）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第13回 構造計算書作成の事例（基礎の検討）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第14回 構造計算書作成の事例（一貫構造計算プログラム）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ） 第15回 構造計算書作成の事例（チェックリスト）（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）											
----- 木造建築インターンシップ(2)へ続く↓↓↓ -----											

木造建築インターンシップ (2)

第16回	構造計算書作成の事例（電算出力の確認）	（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）
第17回	構造計算書作成の知識（構造伏図）	（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）
第18回	構造計算書作成の知識（構造骨組図）	（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）
第19回	構造計算書作成の知識（構造模型）	（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）
第20回	構造計算書作成の知識（総合所見）	（集中8時間 1コマ2時間×1日4コマ）

【履修要件】

木質構造機能学
木質構造機能学
を履修のこと

【成績評価の方法・観点】

企業の担当者から提出いただく作業報告等の書類により評価する。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）

【授業外学修（予習・復習）等】

木質構造の設計、部材の設計、壁量計算、接合部の設計などについて事前に学修すること

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AGR02 7BZ01 PJ80									
授業科目名 <英訳>		インターンシップ Internship				担当者所属・ 職名・氏名		農学研究科 教授 農学研究科 教授		杉山 淳司 小杉 緑子	
配当 学年	1回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2023・ 通年	曜時限	その他	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
公的機関等において、製造、設計、研究、開発、研究等の実習を行い、社会における現場体験をすることによって、大学における教育・研究への目的意識を習得すること、および将来の進路決定に有益な知見を得ることを目的とする。											
【到達目標】											
公的機関等における実習を通じて、社会の実態を理解し、自身の研究の方向づけに役立てる。また将来のキャリア形成について理解を深める。											
【授業計画と内容】											
インターンシップは、森林科学専攻に募集が来ているもの、および企業、官公庁などのホームページで募集しているものに応募し、実習を行うこと。											
インターンシップ修了後、12月末までに、 (1) レポート(実習内容、感想などの報告書、A4×4枚以上)及び、 (2) 受け入れ先の受け入れ承諾書を森林科学専攻事務室に提出すること。											
【履修要件】											
森林科学専攻在籍の学生に限る。											
インターンシップ参加の前に、必ず、指導教員及び専攻長に申し出て、単位認定が可能かどうか確認すること。											
また、インターンシップ実習の期間はおよそ1週間以上であること。											
【成績評価の方法・観点】											
提出されたレポートにより評価する。 また評価基準及び達成度については、当該年度農学研究科学修要覧記載の[評価基準及び達成度]による。											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
(参考書) 受入れ先機関からの指示に従うこととする。											
【授業外学修(予習・復習)等】											
森林・林業、環境、木材関連産業について予備的知識を習得しておくこと。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											

農学研究科 令和4年度英語関連科目一覧

科目名	授業形態 (講義・演習・実習等)	開講期 (前期・後期・通年・集中)	配当学年	他学部・研究科の学生の受講について (プルダウン選択)	備考
作物生産生態論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
育種学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
遺伝・ゲノム解析法特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
蔬菜花卉園芸学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
果樹生理学特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
雑草学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
品質設計開発学特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
品質評価学特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林・人間関係学特論1	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林・人間関係学特論3	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯林環境学特論1	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯林環境学特論2	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯林環境学特論3	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯林環境学特論4	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林生態学特論	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林利用学特論Ⅰ	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林利用学特論Ⅱ	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
山地保全学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林水文学特論	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物繊維学Ⅰ	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物繊維学Ⅱ	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林生化学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
バイオマス植物学	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
居住圏環境共生学	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
Forest Science 1	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
森林水文学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林水文学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林生化学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林生化学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
応用生命科学VI	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
遺伝学特論Ⅰ	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
遺伝学特論Ⅱ	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
海洋生物環境学特論Ⅱ	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
海洋分子微生物学特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
海洋生物機能学特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物遺伝学専攻演習1	演習	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物遺伝学専攻演習2	演習	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物病理学専攻演習1	演習	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物病理学専攻演習2	演習	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
昆虫生態学専攻演習1	演習	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
昆虫生態学専攻演習2	演習	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
里海生態保全学演習1	演習	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
里海生態保全学演習2	演習	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物遺伝学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物遺伝学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物病理学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
植物病理学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
昆虫生態学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
昆虫生態学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
里海生態保全学専攻実験1	実験	通年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
里海生態保全学専攻実験2	実験	通年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯農業生態学特論	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯作物立地論	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
土壌学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物地球化学	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態情報開発学特論	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態制御学特論	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
施設機能工学	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
設計支援科学	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
水資源利用工学	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境水理モデル化論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
水環境工学	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農村土地利用計画論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農業システム工学特論	講義	後期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
テラメカニックス論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
フィールドロボティクス特論	講義	前期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施

科目名	授業形態 (講義・演習・実習等)	開講期 (前期・後期・通年・集中)	配当学年	他学部・研究科の学生の受講について (ブルダウン選択)	備考
フィールドオートメーション論	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物センシング工学特論	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農産物性論	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線管理学	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線応用工学	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯農業生態学演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯農業生態学演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
土壌学演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
土壌学演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態情報開発学演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態情報開発学演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農村計画学演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農村計画学演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
フィールドロボティクス演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
フィールドロボティクス演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物センシング工学演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物センシング工学演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線管理演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線管理演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯農業生態学専攻実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
熱帯農業生態学専攻実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
土壌学専攻実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
土壌学専攻実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態情報開発学専攻実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生態情報開発学専攻実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農村計画学実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
農村計画学実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
フィールドロボティクス実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
フィールドロボティクス実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物センシング工学実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物センシング工学実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線管理実験 1	実験	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
環境放射線管理実験 2	実験	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
地域環境経済学 1 A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
地域環境経済学 1 B	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
地域環境経済学 2 A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
地域環境経済学 2 B	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
食料・環境政策学 2 A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
食料・環境政策学 2 B	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
国際農村発展論 1 A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
国際農村発展論 2 A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林資源経済学A	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
森林資源経済学B	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
国際食農研究特論	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
定性研究デザイン特論	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
質的調査方法論	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物資源経済学特別講義Ⅱ B	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物資源経済学特別講義ⅦA	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物資源経済学特別講義ⅦB	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
国際農村発展論専攻演習 1	演習	通 年	M1以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
国際農村発展論専攻演習 2	演習	通 年	M2以上	一切不可	留学生がいる場合のみ英語で実施
酵素化学特論	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
タンパク質工学特論	講義	前期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
食品化学特論	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
生物工学特論	講義	後期(集中)	M1以上	履修者数に余裕があれば可	留学生がいる場合のみ英語で実施
比較農業論特論 9	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 0	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 1	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 2	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 3	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 4	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 5	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
比較農業論特論 1 6	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
Scientific Communication 1	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
Scientific Communication 2	講義	後 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
Sustainable Agriculture: A Cross-Cultural Perspective	講義	前 期	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
人間の安全保障特論	講義	後期集中	M1以上	履修者数に余裕があれば可	
東南アジア地域論	講義	後期集中	M1以上	一切不可	
ユネスコシェアフィールドワーク：水と森と社会	講義	通年集中	M2以上	履修者数に余裕があれば可	

令和4年6月2日専攻長会議承認

令和4年6月9日研究科会議報告

副指導教員制度について

専攻	制度の内容	備考
農 学	専攻会議で協議のうえ、副指導教員を指名する。	
森 林 科 学	副指導教員を、異なる分野の講師以上から1名、学生本人と指導教員との相談のうえ、5月に選出する。 学生生活全般に関してサポートを行う。	
応用生命科学	修士課程：2名選出。 助教以上を対象とするが、出来る限り講師以上から選出。 異なる分野から選出することを推奨。 可能な限り、修士論文判定の副査も併任。 院生本人の意向も考慮し、指導教員が選出。 主な目的は生活相談。但し、研究相談も可能。 博士後期課程：2名選出。 助教以上を対象とするが、出来る限り講師以上から選出。 異なる分野から選出することを推奨。 博士論文判定の副査とは無関係。 1名は、院生本人が選出。他1名は、院生本人の意向も考慮し、指導教員が選出。 主な目的は生活相談。但し、研究相談も可能。	
応用生物科学	指導教員に加えて、講師以上の2名の教員を副指導教員として選出。 ただし、専攻会議の了承のもと、2名の副指導教員のうち1名を助教とすることが可能。 学生生活全般に関してサポートを行う。	
地域環境科学	講師以上の2名の教員を選出する。 1名を専攻内から、もう1名は専攻内に必ずしも限定せず、他専攻や他研究科からでも良いものとする。	
生物資源経済学	助教以上を対象とするが、出来る限り講師以上から選出。	
食品生物科学	修士課程、博士後期課程とも2名。 内1名は調査委員から、もう1名は助教以上からアトランダムに選出。	

博士学位授与審査手順

博士学位申請手続き：5月授与

step	学位授与決定の研究科会議から遡っての締切の目安 【5月研究科会議（4月研究科会議）の場合】	5月研究科会議（4月研究科会議）で承認の場合 の締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内 規との対応
1	最低5ヶ月前まで 【1月4日までに（12月1日までに）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【1月中旬まで（12月中旬まで）】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	
3	3-4ヶ月前 【2月初旬まで（1月初旬まで）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望者に、学位申請するよう指示する。	第1～3条：予備調査
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	2月13日（月）（1月17日（火））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	2月20日（月）（1月24日（火））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）（Wordも）」 ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年度の6月1日以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年度の12月1日以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の 勤務日7日以上前 【3月1日～（1月31日～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の1週間（勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	
7	研究科会議 （調査委員決定）	3月9日（2月9日）	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	第5条
8	1-2ヶ月前 【～4月16日（日）（～3月16日（木））】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員（主査）に提出する。	第6条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3週間-1ヶ月前	4月17日（月）（3月17日（金））	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word（Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF）とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛に提出する。	
10	研究科会議（学位授与決定）の 勤務日7日以上前 【4月28日（金）～（4月4日（火）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	
11	研究科会議 （学位授与決定）	5月11日（木）（4月13日（木））	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を実施し、学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科会議構成員にその理由を説明することとする。	第7条～第10条
12	学位授与	5月23日	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

博士学位申請手続き：7月授与

step	学位授与決定の研究科会議から遡っての締切の目安 【7月研究科会議（6月研究科会議）の場合】	7月研究科会議（6月研究科会議）で承認の場合の 締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内規 との対応
1	最低5ヶ月前まで 【3月1日までに（2月1日までに）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文 目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【3月中旬まで（2月中旬まで）】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	
3	3-4ヶ月前 【4月初旬まで（3月初旬まで）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で 良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定 について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望 者に、学位申請するよう指示する。	第1～3条：予備調査
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	4月10日（月）（3月10日（金））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前 確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	4月17日（月）（3月17日（金））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）（Wordも）」 ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年度の6月1日 以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年度の12月1日 以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の 勤務日7日以上前 【4月28日（金）～（4月4日（火）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の1週間 （勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	
7	研究科会議 （調査委員決定）	5月11日（木）（4月13日（木））	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	第5条
8	1-2ヶ月前 【～6月21日（水）（～5月23日（火））】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑 応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員 （主査）に提出する。	第6条：公聴会、試 験、調査委員による審 査
9	3週間-1ヶ月前	6月22日（木）（5月24日（水））	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word （Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF） とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式 を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛に提出する。	
10	研究科会議（学位授与決定）の 勤務日7日以上前 【7月4日（火）～（5月30日（火）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計 7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文 最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	
11	研究科会議 （学位授与決定）	7月13日（木）（6月8日（木））	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を実施し、 学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科 会議構成員にその理由を説明することとする。	第7条～第10条
12	学位授与	7月25日	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

博士学位申請手続き：9月授与

step	学位授与決定の研究科会議から遡っての締切の目安 【9月研究科会議の場合】	9月研究科会議で承認の場合の締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内規との対応
1	最低5ヶ月前まで 【5月2日までに（4月1日までに）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【5月中旬まで（4月中旬まで）】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	
3	3-4ヶ月前 【6月初旬まで（5月初旬まで）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望者に、学位申請するよう指示する。	第1～3条：予備調査
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	6月15日（木）までに （5月17日（水）までに）	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	6月22日（木）（5月24日（水））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）（Wordも）」 ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年年度の6月1日以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年年度の12月1日以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の勤務日7日以上前 【7月4日（火）～（5月30日（火）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の1週間（勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	
7	研究科会議（調査委員決定）	7月13日（木）（6月8日（木））	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	第5条
8	1-2ヶ月前 【～8月24日（木）】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員（主査）に提出する。	第6条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3週間-1ヶ月前	8月25日（金）	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word（Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF）とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛へ提出する。	
10	研究科会議（学位授与決定）の勤務日7日以上前 【9月5日（火）～】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	
11	研究科会議（学位授与決定）	9月14日（木）	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を実施し、学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科会議構成員にその理由を説明することとする。	第7条～第10条
12	学位授与	9月25日（月）	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

博士学位申請手続き：11月授与

step	学位授与決定の研究科会議から遡っての締切の目安 【11月研究科会議の場合】	11月研究科会議で承認の場合の締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内規との対応
1	最低5ヶ月前まで 【7月1日までに】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【7月中旬までに】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	第1～3条：予備調査
3	3～4ヶ月前 【8月初旬までに】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望者に、学位申請するよう指示する。	
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	8月18日（金）	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	8月25日（金）	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）（Wordも）」 ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年度の6月1日以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年度の12月1日以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の勤務日7日以上前 【9月5日（火）～】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の1週間（勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	
7	研究科会議 （調査委員決定）	9月14日（木）	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	第5条
8	1～2ヶ月前 【～10月23日（月）】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員（主査）に提出する。	第6条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3週間～1ヶ月前	10月24日（火）	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word（Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF）とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛に提出する。	
10	研究科会議（学位授与決定）の勤務日7日以上前 【10月30日（月）～】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	第7条～第10条
11	研究科会議 （学位授与決定）	11月9日（木）	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を実施し、学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科会議構成員にその理由を説明することとする。	
12	学位授与	11月24日（金）	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

博士学位申請手続き：1月授与

step	学位授与決定の研究科会議から選っての締切の目安 【1月研究科会議（12月研究科会議）の場合】	1月研究科会議（12月研究科会議）で承認の場合 の締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内規 との対応
1	最低5ヶ月前まで 【9月1日までに（8月1日までに）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【9月中旬まで（8月中旬まで）】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	第1～3条：予備調査
3	3～4ヶ月前 【10月初旬まで（9月初旬まで）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望者に、学位申請するよう指示する。	
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	10月17日（火）（9月13日（水））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	10月24日（火）（9月20日（水））	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）（Wordも）」 ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年度の6月1日以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年度の12月1日以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の 勤務日7日以上前 【10月30日（月）～（10月2日（月）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の1週間（勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	第5条
7	研究科会議 （調査委員決定）	11月9日（木）（10月12日（木））	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	
8	1-2ヶ月前 【～12月14日（木）（～11月27日（月））】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員（主査）に提出する。	
9	3週間-1ヶ月前	12月15日（金）（11月28日（火））	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word（Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF）とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛に提出する。	第6条：公聴会、試験、調査委員による審査
10	研究科会議（学位授与決定）の 勤務日7日以上前 【12月26日（火）～（12月5日（火）～）】		・研究科会議構成員は、総務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	第7条～第10条
11	研究科会議 （学位授与決定）	1月11日（木）（12月14日（木））	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を実施し、学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科会議構成員にその理由を説明することとする。	
12	学位授与	1月23日（火）	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

博士学位申請手続き：3月授与

step	学位授与決定の研究科会議から遡っての締切の目安 【3月研究科会議（2月研究科会議）の場合】	3月研究科会議（2月研究科会議）で承認の場合の 締切または会議開催日	実施する事項	博士学位論文取扱内規 との対応
1	最低5ヶ月前まで 【11月1日までに（10月1日までに）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文要旨、論文 目録（案）を提出する。	第1条
2	4ヶ月前までに 【11月中旬まで（10月中旬まで）】		・指導教員（担当教員）が専攻長へ、予備調査の開始を依頼する。	
3	3-4ヶ月前 【12月初旬まで（11月初旬まで）】		・博士学位申請希望者が指導教員（担当教員）へ、論文（仮製本で 良い）を提出し、指導教員が内見した上で、専攻長へ提出する。 ・専攻の内規に従い、予備調査を実施する。 ・予備調査結果に基づき、学位申請の可否及び調査委員候補者の選定 について専攻会議で審議する。 ・専攻会議での承認後、指導教員（担当教員）から博士学位申請希望 者に、学位申請するよう指示する。	第1～3条：予備調査
4	3ヶ月前 （学位申請締め切り1週間以上前に）	12月8日（11月21日）	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類のうち以下①～⑤の事前 確認を依頼する。 ①「学位論文の公表方法について」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」 ⑤「論文表紙および目次」	
5	3ヶ月前	12月15日（11月28日）	・申請者が大学院教務掛へ、学位申請書類を提出する。 ①「学位論文の公表方法について（Excelも）」 ②「論文目録（様式1）」 ③「履歴書（様式2）」 ④「論文要旨（様式3）」（Wordも） ⑤「学位論文審査願」または「学位申請書」 ⑥「論文冊子（仮製本でも可）」 ⑦「論文全文データ（PDF）」 ⑧「要約（PDFも）」※要約公表を行う場合 ※学位申請は、10月入（進）学者にあっては、最終学年度の6月1日 以降、4月入（進）学者にあっては、同じく最終学年度の12月1日 以降とする。ただし、研究指導認定が予定されていることを条件とする。	第3,4条：論文提出
6	研究科会議（調査委員決定）の 勤務日7日以上前 【12月26日～（12月5日～）】		・研究科会議構成員は、教務掛の案内により、研究科会議の1週間 （勤務日合計7日以上）前から、論文・目録・履歴書（PDF）を閲覧する。	
7	研究科会議 （調査委員決定）	1月11日（12月14日）	・研究科会議において調査委員3名を選定する。	第5条
8	1-2ヶ月前 【～2月20日（～1月22日）】		・調査委員は、公聴会、論文調査・試験（申請者と調査委員の間の質疑 応答や試問、および、学識確認など）を実施する。 ・申請者は必要に応じて論文の改稿を行い、論文の最終版を調査委員 （主査）に提出する。	第6条：公聴会、試 験、調査委員による審 査
9	3週間-1ヶ月前	【2月21日（1月23日）】	・調査委員（主査）は、論文の最終版に基づいて、学位審査報告書（Word （Macで作成の場合PDFも））を作成し、論文全文データ最終版（PDF） とともに大学院教務掛へ提出する。【メール】 ・調査委員（主査）は、調査委員全員が署名押印した論文最終版提出様式 （新規作成予定）を付して、論文冊子最終版（2部）を大学院教務掛に 提出する。【持参】	
10	研究科会議（学位授与決定）の 勤務日7日以上前 【3月5日～（1月30日～）】		・研究科会議構成員は、教務掛の案内により、研究科会議の勤務日合計 7日以上前から、学位審査報告書（PDF）を確認する。その際、論文 最終版（PDF）の閲覧も可能とする。	
11	研究科会議 （学位授与決定）	3月14日（2月8日）	・研究科会議で主査が学位審査報告を口頭で行い、可否投票を 実施し、 学位授与の可否を決定する。否を投票する構成員は、投票前に研究科 会議構成員にその理由を説明することとする。	第7条～第10条
12	学位授与	3月25日	・学位授与は奇数月のみ（5月、7月、9月、11月、1月、3月） ・学位授与式は年2回のみ実施 9月→（5,7,9月授与）、3月→（11,1,3月授与）	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : May graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 4 January (by 1 December)]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid January (by mid December)]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early February (early January)]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ～ 3 条：予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	13 February (17 January)	- The applicant submit the following ①～⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	20 February (24 January)	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条：論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [1 March (31 January)]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	9 March (9 February)	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 16 April (by 16 March)]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	17 April (17 March)	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 28 April (4 April))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	11 May (13 April)	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination, after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条～第 10 条
12	Doctoral degree conferment	23 May	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : Jury graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 1 March (by 1 February)]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid March (by mid February)]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early April (early March)]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ~ 3 条 : 予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	10 April (10 March)	- The applicant submit the following ①~⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	17 April (17 March)	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条 : 論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [28 April (4 April)]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	11 May (13 April)	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 21 June (by 23 May)]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条 : 公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	22 June (24 May)	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 4 July (30 May))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	13 July (8 June)	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination , after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条 ~ 第 1 0 条
12	Doctoral degree conferment	25 July	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : September graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 2 May (by 1 April)]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid May (by mid April)]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early June (early May)]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ～ 3 条：予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	15 June (17 May)	- The applicant submit the following ①～⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	22 June (24 May)	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条：論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [4 July (30 May)]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	13 July (8 June)	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 24 August]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	25 August	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 5 September))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	14 September	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination, after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条～第 10 条
12	Doctoral degree conferment	25 September	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : November graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 1 July]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid July]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early August]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ~ 3 条 : 予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	18 August	- The applicant submit the following ①~⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	25 August	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条 : 論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [5 September]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	14 September	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 23 October]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条 : 公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	24 October	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 30 October))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	9 November	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination , after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条 ~ 第 1 0 条
12	Doctoral degree conferment	24 November	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : January graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 1 September (by 1 August)]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid September (by mid August)]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early October (early September)]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ～ 3 条：予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	17 October (13 September)	- The applicant submit the following ①～⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	24 October (20 September)	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条：論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [30 October (2 October)]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	9 November (12 October)	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 14 December (by 27 November)]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	15 December (28 November)	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 26 December (5 December))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	11 January (14 December)	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination, after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条～第 10 条
12	Doctoral degree conferment	23 January	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

Steps & deadlines for doctoral degree applications : March graduation

step	How much time in advance [deadlines for approval by March (February) faculty meeting]	Deadlines or faculty meeting date for final approval in March (February) faculty meetings (possibly different by a few days from year to year)	What to do	Correspondence to the official rules (in Japanese)
1	At least 5 months ahead [by 1 November (by 1 October)]		The applicant submit the abstract & the draft list of contents (Form 1) to his/her major advisor.	第 1 条
2	At least 4 months ahead [by mid November (by mid October)]		The major advisor request his/her Division to initiate the preliminary examination steps.	
3	3-4 months ahead [early December (early November)]		- The applicant submit his/her thesis to the major advisor, who submits it to the Division chair. An informal binding (rather than a permanent binding) is acceptable at this stage. - The Division initiates the preliminary examination per its own rules. - The Division determines whether the thesis can be submitted, and if so, who are to be the official thesis examiners (major and two or more sub examiners). - Following an approval, the major advisor instructs the applicant to prepare for submission steps to the Graduate School of Agriculture (GSA) office.	第 1 ～ 3 条：予備調査
4	3+ months ahead (at least more than 1 week before the deadline for the submission of the entire thesis)	8 December (21 November)	- The applicant submit the following ①～⑤ to have them checked for the format etc. ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum Vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "The cover title page"	
5	3 months ahead	15 December (28 November)	- The applicant submit the following per "Procedures for the Examination of Thesis" guideline ① "Method of publications of doctoral theses" ② "List of contents (Form 1)" ③ "Curriculum vitae (CV) (Form 2)" ④ "Thesis summary (Form 3)" ⑤ "Request for examination of thesis" ⑥ "The complete thesis (printed, either bound informally or formally) " ⑦ "The complete thesis (pdf file) " ⑧ "The thesis abstract (printed & pdf)" (if you do not immediately allow the entire thesis to public viewing but allow access to only abstract for a set period) ※Note that students can submit a thesis after June 1 of the third year for those who had started in October, and after December 1 of the third year for those who had started in April, pending the certificate of research guidance approval to be given by the end of the third year.	第 3, 4 条：論文提出
6	7 or more business days ahead of the GSA assembly for the approval of the thesis examiners [26 December (5 December)]		The members of the GSA assembly must check the contents of every thesis, list of contents, and CV, which will be available at least 7 business days prior to the GSA assembly for the approval of the thesis examiners.	
7	GSA assembly for approval of the thesis examiners	11 January (14 December)	GSA assembly approves the thesis examiners	第 5 条
8	1 to 2 months ahead [by 20 February (by 22 January)]		- Thesis examiners arrange for a public defense (presentation), examination of the thesis followed by oral examination (question-and-answer session), examination of relevant academic knowledge, etc. . - The applicant will revise the thesis as necessary, and submit the final version of the thesis to his/her advisor (= main examiner)	第 6 条：公聴会、試験、調査委員による審査
9	3 weeks to 1 month ahead	21 February (23 January)	- The main examiner (on behalf of all examiners) must prepare the thesis examination report (MS Word file (plus pdf if prepared with Mac), and submit it along with the pdf file of the final and complete thesis by e-mail to the GSA graduate affairs office. - The main examiner must deliver the final & bound printed copies of the thesis (2 copies) along a form of approval signed by all thesis examiners.	
10	At least 7 business days in advance of the GSA assembly (for degree approval) (before 5 March (30 January))		All GSA assembly members can check the pdf files of the examination report along with the thesis, which will be available at least 7 days in advance of the GSA assembly for degree approvals with a notice from the GSA graduate affairs office.	
11	GSA assembly for a doctoral degree approval	14 March (8 February)	The main examiner verbally reports to the GSA assembly the result of thesis examination , after which the members vote whether to confer a degree or not. Any member intending to vote "no" is required to explain the reason to the GSA assembly members.	第 7 条～第 1 0 条
12	Doctoral degree conferment	25 March	- Degrees are conferred only in odd-number months of the year (May, July, September, November, January, and March) - Degree conferment ceremonies take place twice each year, i.e., September for May, July, September conferment) and March for November, January and March conferment.	

7. 修士課程修了要件及び単位修得方法等

(1) 修士課程の修了要件について

修士課程を修了するためには、同課程に2年以上在学して、研究指導を受け、専攻科目につき30単位以上を修得し、かつ本研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。なお、特に優れた研究業績を挙げた者については、本研究科の定めるところにより、1年以上の在学をもって修了する制度もあります。

(2) 単位修得方法について

各専攻の単位修得方法は、専攻毎の科目表の最後に記載しています。履修にあたっては、本記載及び所属専攻の掲示等に留意してください。

なお、他専攻等の科目の履修については、所属専攻の指示に従ってください

(3) 成績の評価方法について

成績の評価方法については、各科目のシラバスに掲載しています。

(4) 成績の評価基準及び達成度について

成績は2段階もしくは4段階で評価します。

【2段階評価】

合格：すべての観点または大半の観点において目標を達成している。

不合格：学修の効果が認められず、目標を達成したとは言い難い。

【4段階評価】

標語（素点）	適用基準	
優(80点～100点)	合格基準に達している	すべての観点において学修の高い効果が認められ高い水準で目標を達成している。
良(70点～79点)		すべての観点において学修の高い効果が認められ目標を達成している。
可(60点～69点)		大半の観点において学修の効果が認められ目標をある程度達成している。
不合格(0～59点)	合格基準に達していない	学修の効果が認められず目標を達成したとは言い難い。

(5) 成績の表示について

講義、演習、実験、実習の成績は、優、良、可、不合格で表示します。

修士課程研究論文の成績は、合格、不合格で表示します。

特別講義、他研究科・学部で修得した科目及び既修得科目等の成績で、優、良、可、不合格で表示し難いものは、合格、不合格で表示します。

(6) 成績異議申し立てについて

当該期の成績について、次の場合に限り、異議を申し立てることができます。

①成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの

②シラバス等により周知している成績評価の方法等から、明らかに疑義があるもの

異議申し立てをする者は、大学院教務掛まで申し出ること。

(7) 成績の証明について

成績の証明は、合格した科目の科目名及びその評価、単位、取得年度等について記載し、不合格の科目については、記載しません。

(8) 授業時間割等について

授業時間割、講義室、履修登録、試験については、学期初めに各専攻毎に掲示等で発表します。また、集中講義については、その都度、発表されますので、掲示に留意願います。

科目ナンバリングについて

講義名(履修者数)	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	修得のうち A以上割合	修得のうち B以上割合	履修のうち A以上割合	履修のうち B以上割合	履修のうち 不合格割合
AA02000 作物生産生態論(38)	0	33	3	1	0	1	38	37	89.2%	97.3%	86.8%	94.7%	2.6%
AA06000 園芸生産環境調節論(14)	0	14	0	0	0	0	14	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AA15000 植物生産技術論(16)	0	16	0	0	0	0	16	16	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AA23000 農学特別講義Ⅲ(53)	0	27	10	1	0	15	53	38	71.1%	97.4%	50.9%	69.8%	28.3%
AA24000 農学特別講義Ⅳ(31)	0	31	0	0	0	0	31	31	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AA26000 果樹生理学特論(21)	0	21	0	0	0	0	21	21	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AA29000 農学特別講義Ⅶ(41)	0	41	0	0	0	0	41	41	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AA30000 農学特別講義Ⅷ(39)	0	20	9	1	0	9	39	30	66.7%	96.7%	51.3%	74.4%	23.1%
AA33000 育種学特論(8)	0	7	0	0	0	1	8	7	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	12.5%
AA95000 雑草生態学特論(29)	0	29	0	0	0	0	29	29	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB10000 作物学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB11000 作物学演習2(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
AB12000 育種学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB13000 育種学演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB14000 蔬菜花卉園芸学演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB15000 蔬菜花卉園芸学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB16000 果樹園芸学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB17000 果樹園芸学演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB18000 雑草学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB19000 雑草学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB20000 栽培システム学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB21000 栽培システム学演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB22000 品質設計開発学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB23000 品質設計開発学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB24000 品質評価学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB25000 品質評価学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB26000 植物生産管理学演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AB27000 植物生産管理学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC28000 作物学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC29000 作物学専攻実験2(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
AC30000 育種学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC31000 育種学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC32000 蔬菜花卉園芸学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC33000 蔬菜花卉園芸学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC34000 果樹園芸学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC35000 果樹園芸学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC36000 雑草学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC37000 雑草学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC38000 栽培システム学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC39000 栽培システム学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC40000 品質設計開発学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC41000 品質設計開発学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC42000 品質評価学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC43000 品質評価学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC44000 植物生産管理学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
AC45000 植物生産管理学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA09000 緑地環境デザイン学特論(15)	0	11	3	1	0	0	15	15	73.3%	93.3%	73.3%	93.3%	
BA11000 山地保全学特論(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA13000 森林情報学特論Ⅰ(15)	0	14	0	1	0	0	15	15	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	
BA15000 森林育成学特論Ⅰ(20)	0	13	3	2	0	2	20	18	72.2%	88.9%	65.0%	80.0%	10.0%
FC20000 生物資源経済学特別講義Ⅷ(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC22000 生物資源経済学特別講義Ⅲ(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC23000 定性研究デザイン特論(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
GA14000 食品生物科学特論Ⅰ(35)	0	9	14	9	0	3	35	32	28.1%	71.9%	25.7%	65.7%	8.6%
GA16000 食品生物科学特論Ⅲ(41)	0	39	1	1	0	0	41	41	95.1%	97.6%	95.1%	97.6%	
GA23000 タンパク質工学特論(51)	0	36	9	6	0	0	51	51	70.6%	88.2%	70.6%	88.2%	
GA26000 天然物化学特論(38)	0	10	15	9	0	4	38	34	29.4%	73.5%	26.3%	65.8%	10.5%
GA28000 健康科学特論(35)	0	19	7	9	0	0	35	35	54.3%	74.3%	54.3%	74.3%	
GA30000 栄養生理学特論Ⅱ(35)	0	34	1	0	0	0	35	35	97.1%	100.0%	97.1%	100.0%	
GA33000 合成生物学特論(48)	0	23	16	7	0	2	48	46	50.0%	84.8%	47.9%	81.3%	4.2%
GA34000 生物工学特論(35)	0	28	3	2	0	2	35	33	84.8%	93.9%	80.0%	88.6%	5.7%
GB09000 酵素化学専攻演習1(8)	0	8	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB10000 酵素化学専攻演習2(4)	0	3	1	0	0	0	4	4	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
GB13000 生命有機化学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB14000 生命有機化学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB15000 栄養化学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB16000 栄養化学専攻演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB19000 食品生理機能学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB20000 食品生理機能学専攻演習2(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB21000 農産製造学専攻演習1(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB22000 農産製造学専攻演習2(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB23000 生物機能変換学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GB24000 生物機能変換学専攻演習2(3)	0	2	0	1	0	0	3	3	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	
GC09000 酵素化学専攻実験1(8)	0	8	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC10000 酵素化学専攻実験2(4)	0	3	1	0	0	0	4	4	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
GC13000 生命有機化学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC14000 生命有機化学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC15000 栄養化学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC16000 栄養化学専攻実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC19000 食品生理機能学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC20000 食品生理機能学専攻実験2(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC21000 農産製造学専攻実験1(7)	0	5	1	1	0	0	7	7	71.4%	85.7%	71.4%	85.7%	
GC22000 農産製造学専攻実験2(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC23000 生物機能変換学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
GC24000 生物機能変換学専攻実験2(3)	0	0	2	1	0	0	3	3	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	
S001000 Scientific Communication 1(14)	0	14	0	0	0	0	14	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
S003000 Scientific Communication 2(12)	0	8	3	0	0	1	12	11	72.7%	100.0%	66.7%	91.7%	8.3%
S005000 Sustainable Agriculture(18)	0	17	0	1	0	0	18	18	94.4%	94.4%	94.4%	94.4%	
U001000 ユネスコチャフィールドワーク:水と森と社会(11)	0	9	0	0	0	2	11	9	100.0%	100.0%	81.8%	81.8%	18.2%
W001000 人間の安全保障特論(12)	0	5	6	1	0	0	12	12	41.7%	91.7%	41.7%	91.7%	
W002000 東南アジア地域論(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
X101000 生理化学概論(36)	0	28	3	0	0	5	36	31	90.3%	100.0%	77.8%	86.1%	13.9%
Y009000 比較農業論特論9(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Y010000 比較農業論特論10(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Y013000 比較農業論特論13(2)	0	0	2	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA46000 森林・人間関係学特論3(10)	0	6	2	1	0	1	10	9	66.7%	88.9%	60.0%	80.0%	10.0%
BA47000 森林・人間関係学特論4(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA50000 森林生物学特論1(21)	0	16	0	1	0	4	21	17	94.1%	94.1%	76.2%	76.2%	19.0%
BA51000 森林生物学特論2(11)	0	7	0	0	0	4	11	7	100.0%	100.0%	63.6%	63.6%	36.4%
BA54000 生物材料設計学特論3(14)	0	10	0	1	0	3	14	11	90.9%	90.9%	71.4%	71.4%	21.4%
BA55000 生物材料設計学特論4(13)	0	11	1	0	0	1	13	12	91.7%	100.0%	84.6%	92.3%	7.7%
BA58000 林産加工学特論3(19)	0	19	0	0	0	0	19	19	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA59													

講義名(履修者数)	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	修得のうち A以上割合	修得のうち B以上割合	履修のうち A以上割合	履修のうち B以上割合	履修のうち 不合格割合
BA85000 森林科学特別講義 XI(31)	0	26	0	0	0	5	31	26	100.0%	100.0%	83.9%	83.9%	16.1%
BA86000 森林科学特別講義 XII(22)	0	21	1	0	0	0	22	22	95.5%	100.0%	95.5%	100.0%	
BA87000 森林科学特別講義 XIII(27)	0	23	4	0	0	0	27	27	85.2%	100.0%	85.2%	100.0%	
BA89000 木質構造科学 I(15)	0	12	3	0	0	0	15	15	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
BA96000 複合材料化学特論1(8)	0	8	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BA97000 複合材料化学特論2(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB20000 森林・人間関係学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB21000 森林・人間関係学専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB22000 熱帯林環境学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB23000 熱帯林環境学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB24000 森林利用学専攻演習1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB26000 森林生物学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB27000 森林生物学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB28000 環境デザイン学専攻演習1(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
BB29000 環境デザイン学専攻演習2(6)	0	5	1	0	0	0	6	6	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
BB30000 山地保全学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB31000 山地保全学演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB32000 生物材料設計学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB33000 生物材料設計学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB34000 林産加工学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB35000 林産加工学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB36000 生物繊維学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB37000 生物繊維学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB38000 樹木細胞学演習1(6)	0	4	2	0	0	0	6	6	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
BB39000 樹木細胞学演習2(1)	0	0	1	0	0	0	1	1		100.0%		100.0%	
BB40000 複合材料化学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB41000 複合材料化学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB42000 生物材料化学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB43000 生物材料化学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB44000 森林情報学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB45000 森林情報学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB46000 森林育成学専攻演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB47000 森林育成学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB50000 生物機能材料学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Y016000 比較農業論特論16(0)	0	0	0	0	0	0	0	0					
Z002000 日本の農業と環境(16)	0	16	0	0	0	0	16	16	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Z011000 比較農業論特論9(留學生対象)(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Z012000 比較農業論特論10(留學生対象)(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Z015000 比較農業論特論13(留學生対象)(5)	0	1	1	3	0	0	5	5	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	
Z018000 比較農業論特論16(留學生対象)(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB51000 生物機能材料学演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB52000 循環材料創成学演習1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB55000 居住圏環境共生学演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB60000 木質構造科学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB61000 木質構造科学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB64000 森林生態学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB65000 森林生態学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB66000 森林水文学専攻演習1(3)	0	2	0	1	0	0	3	3	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	
BB67000 森林水文学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB68000 森林生態学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BB69000 森林生態学演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC20000 森林・人間関係学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC21000 森林・人間関係学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC22000 熱帯林環境学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC23000 熱帯林環境学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC24000 森林利用学専攻実験1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC26000 森林生物学専攻実験1(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
BC27000 森林生物学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC28000 環境デザイン学専攻実験1(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
BC29000 環境デザイン学専攻実験2(6)	0	5	1	0	0	0	6	6	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
BC30000 山地保全学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC31000 山地保全学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC32000 生物材料設計学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC33000 生物材料設計学専攻実験2(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
BC34000 林産加工学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC35000 林産加工学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC36000 生物繊維学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC37000 生物繊維学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC38000 樹木細胞学専攻実験1(6)	0	5	1	0	0	0	6	6	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
BC39000 樹木細胞学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC40000 複合材料化学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC41000 複合材料化学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC42000 生物材料化学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC43000 生物材料化学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC44000 森林情報学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC45000 森林情報学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC46000 森林育成学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC47000 森林育成学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC50000 生物機能材料学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC51000 生物機能材料学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC52000 循環材料創成学専攻実験1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC55000 居住圏環境共生学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC60000 木質構造科学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC42000 分子微生物科学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC43000 森林圏遺伝子統御学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC44000 森林圏遺伝子統御学専攻実験2(2)	0	1	1	0	0	0	2	2	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
CC46000 森林代謝機能化学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC48000 木質バイオマス変換化学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA01000 遺伝学特論1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA05000 植物病理学特論1(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA09000 昆虫生理学特論(25)	0	15	3	7	0	0	25	25	60.0%	72.0%	60.0%	72.0%	
DA13000 海洋資源生物学特論(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA15000 海洋微生物生理学特論(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA20000 海洋生物機能学特論(23)	0	19	4	0	0	0	23	23	82.6%	100.0%	82.6%	100.0%	
DA22000 海洋生態学特論(60)	0	39	5	1	0	15	60	45	86.7%	97.8%	65.0%	73.3%	25.0%
DA23000 動物遺伝育種学特論(20)	0	19	0	0	0	1	20	19	100.0%	100.0%	95.0%	95.0%	5.0%
DA25000 生殖生物学特論(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA28000 動物代謝調節学特論(11)	0	10	0	0	0	1	11	10	100.0%	100.0%	90.9%	90.9%	9.1%
DA31000 動物生産システム論(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA34000 応用生物科学特別講義 I(32)	0	7	18	7	0	0	32	32	21.9%	78.1%	21.9%	78.1%	
DA35000 応用生物科学特別講義 II(48)	0	6	16	6	0	20	48	28	21.4%	78.6%	12.5%	45.8%	41.7%
DA36000 応用生物科学特別講義 III(60)	0	34	12	2	0	12	60	48	70.8%	95.8%	56.7%	76.7%	20.0%
DA40000 応用生物科学特別講義 IV(34)	0	34	0	0	0	0	34	34	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DA41000 応用生物科学特別講義 V(51)	0	19											

講義名(履修者数)	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	修得のうち A以上割合	修得のうち B以上割合	履修のうち A以上割合	履修のうち B以上割合	履修のうち 不合格割
BC67000 森林水文学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC68000 森林生化学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BC69000 森林生化学専攻実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BD01000 機器分析概論(19)	0	12	4	2	0	1	19	18	66.7%	88.9%	63.2%	84.2%	5.3%
BD02000 熱帯林環境学特論3(11)	0	10	0	0	0	1	11	10	100.0%	100.0%	90.9%	90.9%	9.1%
BD03000 熱帯林環境学特論4(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BD04000 材料生物学1(5)	0	3	2	0	0	0	5	5	60.0%	100.0%	60.0%	100.0%	
BD07000 群集生態学特論(32)	0	27	0	0	0	5	32	27	100.0%	100.0%	84.4%	84.4%	15.6%
BD09000 生物環境物理学特論(13)	0	12	0	0	0	1	13	12	100.0%	100.0%	92.3%	92.3%	7.7%
BD11000 バイオマス植物学(22)	0	22	0	0	0	0	22	22	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BZ00000 研究論文(森林科学専攻)(0)	0	0	0	0	0	0	0	0					
BZ01000 インターシップ(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
BZ02000 木造建築インターシップ(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA01000 応用生命科学 I(58)	0	17	33	8	0	0	58	58	29.3%	86.2%	29.3%	86.2%	
CA02000 応用生命科学 II(58)	0	40	16	1	0	1	58	57	70.2%	98.2%	69.0%	96.6%	1.7%
CA03000 応用生命科学 III(60)	0	51	8	1	0	0	60	60	85.0%	98.3%	85.0%	98.3%	
CA04000 応用生命科学 IV(65)	0	39	16	6	0	4	65	61	63.9%	90.2%	60.0%	84.6%	6.2%
CA05000 産業微生物学講義(69)	0	64	1	1	0	3	69	66	97.0%	98.5%	92.8%	94.2%	4.3%
CA06000 応用生命科学 V(63)	0	55	6	0	0	2	63	61	90.2%	100.0%	87.3%	96.8%	3.2%
CA07000 応用生命科学 VI(59)	0	24	12	7	0	16	59	43	55.8%	83.7%	40.7%	61.0%	27.1%
CA08000 生体機能物理化学講義(8)	0	6	2	0	0	0	8	8	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
CA09000 生物調節化学講義(10)	0	6	3	1	0	0	10	10	60.0%	90.0%	60.0%	90.0%	
CA10000 分子生体触媒化学講義(2)	0	1	1	0	0	0	2	2	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
CA11000 植物栄養学講義(30)	0	10	12	3	0	5	30	25	40.0%	88.0%	33.3%	73.3%	16.7%
CA12000 発酵生理及び醸造学講義(39)	0	37	0	0	0	2	39	37	100.0%	100.0%	94.9%	94.9%	5.1%
CA13000 森林代謝機能化学講義(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA14000 エネルギー変換細胞学講義(17)	0	17	0	0	0	0	17	17	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA16000 化学生態学講義(18)	0	14	1	0	0	3	18	15	93.3%	100.0%	77.8%	83.3%	16.7%
CA17000 分子微生物学講義(29)	0	23	6	0	0	0	29	29	79.3%	100.0%	79.3%	100.0%	
CA18000 制御発酵学講義(25)	0	16	0	0	0	9	25	16	100.0%	100.0%	64.0%	64.0%	36.0%
CA19000 生物機能制御化学講義(12)	0	12	0	0	0	0	12	12	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB24000 化学生態学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB25000 植物栄養学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB26000 植物栄養学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB27000 エネルギー変換細胞学専攻演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB28000 エネルギー変換細胞学専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB29000 発酵生理及び醸造学専攻演習1(10)	0	10	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB30000 発酵生理及び醸造学専攻演習2(13)	0	13	0	0	0	0	13	13	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB31000 制御発酵学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB32000 制御発酵学専攻演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB33000 生体機能物理化学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB34000 生体機能物理化学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB35000 生物機能制御化学専攻演習1(4)	0	3	1	0	0	0	4	4	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
CB36000 生物機能制御化学専攻演習2(6)	0	5	0	1	0	0	6	6	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	
CB39000 分子生体触媒化学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB40000 分子生体触媒化学専攻演習2(1)	0	0	1	0	0	0	1	1		100.0%		100.0%	
CB41000 分子微生物学専攻演習1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB42000 分子微生物学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB43000 森林圈遺伝子統御学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB44000 森林圈遺伝子統御学専攻演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB46000 森林代謝機能化学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB48000 木質バイオマス変換化学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC17000 細胞生化学専攻実験1(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC18000 細胞生化学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC19000 生体高分子化学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC20000 生体高分子化学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC21000 生物調節化学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC22000 生物調節化学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC23000 化学生態学専攻実験1(6)	0	4	2	0	0	0	6	6	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
CC24000 化学生態学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB22000 植物病理学専攻演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB23000 植物病理学専攻演習2(6)	0	5	1	0	0	0	6	6	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
DB24000 昆虫生態学専攻演習1(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB25000 昆虫生態学専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB26000 昆虫生理学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB27000 昆虫生理学専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB28000 動物遺伝育種学演習1(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB29000 動物遺伝育種学演習2(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB30000 生殖生物学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB31000 生殖生物学演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB32000 動物栄養学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB33000 動物栄養学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB34000 生体機構学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB35000 生体機構学演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB36000 畜産資源学演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB37000 畜産資源学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB38000 海洋生物環境学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA20000 細胞生化学講義(20)	0	10	8	2	0	0	20	20	50.0%	90.0%	50.0%	90.0%	
CA21000 生体高分子化学講義(26)	0	17	3	0	0	6	26	20	85.0%	100.0%	65.4%	76.9%	23.1%
CA22000 植物遺伝子統御学講義(23)	0	10	10	0	0	3	23	20	50.0%	100.0%	43.5%	87.0%	13.0%
CA23000 木質バイオマス変換化学講義(20)	0	20	0	0	0	0	20	20	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA25000 応用生命科学特論 II(47)	0	30	2	0	0	15	47	32	93.8%	100.0%	63.8%	68.1%	31.9%
CA26000 応用生命科学特論 III(33)	0	30	3	0	0	0	33	33	90.9%	100.0%	90.9%	100.0%	
CA28000 Applied Microbiology for Human Life(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA29000 Advanced Applied Biochemistry(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CA31000 Pesticide Chemistry(5)	0	4	0	1	0	0	5	5	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
CA34000 Applied Plant Sciences(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB17000 細胞生化学専攻演習1(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB18000 細胞生化学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB19000 生体高分子化学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB20000 生体高分子化学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB21000 生物調節化学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB22000 生物調節化学専攻演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CB23000 化学生態学専攻演習1(6)	0	4	1	1	0	0	6	6	66.7%	83.3%	66.7%	83.3%	
CC25000 植物栄養学専攻実験1(4)	0	2	2	0	0	0	4	4	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
CC26000 植物栄養学専攻実験2(4)	0	3	1	0	0	0	4	4	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
CC27000 エネルギー変換細胞学専攻実験1(3)	0	3	1	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC28000 エネルギー変換細胞学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC29000 発酵生理及び醸造学専攻実験1(10)	0	10	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC30000 発酵生理及び醸造学専攻実験2(13)	0	13	0	0	0	0	13	13	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC31000 制御発酵学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC32000 制御発酵学専攻実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
CC33000 生体機能物理化学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%			

講義名(履修者数)	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	修得のうち A以上割合	修得のうち B以上割合	履修のうち A以上割合	履修のうち B以上割合	履修のうち 不合格割
DB45000 海洋環境微生物学演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB46000 海洋生物生産利用学演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB47000 海洋生物生産利用学演習2(3)	0	0	3	0	0	0	3	3		100.0%		100.0%	
DB48000 海洋生物機能学演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB49000 海洋生物機能学演習2(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB50000 里海生態保全学演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DB51000 里海生態保全学演習2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC18000 植物遺伝学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC21000 栽培植物起源学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC22000 植物病理学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC23000 植物病理学専攻実験2(6)	0	5	1	0	0	0	6	6	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
DC24000 昆虫生態学専攻実験1(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC25000 昆虫生態学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC26000 昆虫生理学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC27000 昆虫生理学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC28000 動物遺伝育種学専攻実験1(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC29000 動物遺伝育種学専攻実験2(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC30000 生殖生物学専攻実験1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC31000 生殖生物学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC32000 動物栄養科学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC33000 動物栄養科学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC34000 生体機構学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC35000 生体機構学専攻実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC36000 畜産資源学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC37000 畜産資源学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC38000 海洋生物環境学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA74000 比較農業経営論B(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA75000 アグリビジネス分析論A(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA76000 アグリビジネス分析論B(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA77000 農業会計学方法論A(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA79000 地域資源経済論A(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA80000 地域資源経済論B(4)	0	2	2	0	0	0	4	4	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
FA81000 農政分析学A(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA82000 農政分析学B(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA83000 森林資源経済学A(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA84000 森林資源経済学B(5)	0	4	0	0	0	1	5	4	100.0%	100.0%	80.0%	80.0%	20.0%
FA87000 比較経済史A(7)	0	5	2	0	0	0	7	7	71.4%	100.0%	71.4%	100.0%	
FA88000 比較経済史B(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA89000 比較農村社会学A(8)	0	8	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA90000 比較農村社会学B(10)	0	10	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA95000 生物資源経済学特別講義 1A(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA96000 生物資源経済学特別講義 1B(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB21000 農業食料組織経営学専攻演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB22000 農業食料組織経営学専攻演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB23000 農業経営情報会計学専攻演習1(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB25000 地域環境経済学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB26000 地域環境経済学専攻演習2(4)	0	3	1	0	0	0	4	4	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
FB27000 食料・環境政策学専攻演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB28000 食料・環境政策学専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB29000 森林経済政策学専攻演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB30000 森林経済政策学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB31000 国際農村発展論専攻演習1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB32000 国際農村発展論専攻演習2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB33000 比較農史学専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB34000 比較農史学専攻演習2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB35000 農学原論専攻演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FB36000 農学原論専攻演習2(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC04000 生物資源経済学特別講義 ⅢB(3)	0	1	2	0	0	0	3	3	33.3%	100.0%	33.3%	100.0%	
FC05000 生物資源経済学特別講義 ⅣA(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC06000 生物資源経済学特別講義 ⅣB(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC07000 国際食糧研究特論(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC08000 生物資源経済学特別講義 ⅤA(4)	0	2	2	0	0	0	4	4	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
FC09000 生物資源経済学特別講義 ⅤB(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC12000 国際農村発展論1A(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC13000 国際農村発展論1B(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC14000 国際農村発展論2A(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC15000 国際農村発展論2B(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC17000 質的調査方法論(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC39000 海洋生物環境学専攻実験2(6)	0	2	3	1	0	0	6	6	33.3%	83.3%	33.3%	83.3%	
DC40000 海洋資源生物学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC41000 海洋資源生物学専攻実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC42000 海洋分子微生物学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC43000 海洋分子微生物学専攻実験2(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
DC44000 海洋環境微生物学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC45000 海洋環境微生物学専攻実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC46000 海洋生物生産利用学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC47000 海洋生物生産利用学専攻実験2(3)	0	2	0	1	0	0	3	3	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	
DC48000 海洋生物機能学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC49000 海洋生物機能学専攻実験2(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC50000 里海生態保全学専攻実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
DC51000 里海生態保全学専攻実験2(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
DZ00000 研究論文(応用生物科学専攻)(0)	0	0	0	0	0	0	0	0					
EA01000 比較資源環境学(17)	0	15	1	1	0	0	17	17	88.2%	94.1%	88.2%	94.1%	
EA09000 熱帯農業生態学特論(18)	0	13	2	1	0	2	18	16	81.3%	93.8%	72.2%	83.3%	11.1%
EA12000 生物地球化学(24)	0	15	2	2	0	5	24	19	78.9%	89.5%	62.5%	70.8%	20.8%
EA13000 微生物生態学特論(12)	0	12	0	0	0	0	12	12	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EA16000 生態制御学特論(19)	0	12	1	0	0	6	19	13	92.3%	100.0%	63.2%	68.4%	31.6%
EA18000 設計支援科学(8)	0	6	2	0	0	0	8	8	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	
EA19000 水資源利用工学(8)	0	6	1	0	0	1	8	7	85.7%	100.0%	75.0%	87.5%	12.5%
EA21000 水環境工学(22)	0	7	5	8	0	2	22	20	35.0%	60.0%	31.8%	54.5%	9.1%
EA23000 農村土地利用計画論(30)	0	12	11	3	0	4	30	26	46.2%	85.5%	40.0%	76.7%	13.3%
EA25000 農業システム工学特論(18)	0	14	1	3	0	0	18	18	77.8%	83.3%	77.8%	83.3%	
EA28000 フィールドノートメーション論(16)	0	6	6	3	0	1	16	15	40.0%	80.0%	37.5%	75.0%	6.3%
EA30000 農産物性論(9)	0	7	2	0	0	0	9	9	77.8%	100.0%	77.8%	100.0%	
EA33000 地域環境科学特別講義 I(10)	0	10	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EA36000 地域環境科学特別講義 IV(33)	0	23	0	0	0	10	33	23	100.0%	100.0%	69.7%	69.7%	30.3%
EA37000 地域環境科学特別講義 V(35)	0	26	0	0	0	9	35	26	100.0%	100.0%	74.3%	74.3%	25.7%
EA41000 地域環境科学特別講義 VI(26)	0	19	3	4	0	0	26	26	73.1%	84.6%	73.1%	84.6%	
EA42000 地域環境科学特別講義 VII(6)	0	4	2	0	0	0	6	6	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
EA43000 地域環境科学特別講義 VIII(24)	0	24	0	0	0	0	24	24	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB35000 熱帯農業生態学演習1(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB36000 熱帯農業生態学演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB37000 土壌学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB38000 土壌学演習2(2)	0	2	0	0	0								

講義名(履修者数)	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	修得のうち A以上割合	修得のうち B以上割合	履修のうち A以上割合	履修のうち B以上割合	履修のうち 不合格割合
EB66000 農村計画学演習2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB67000 農業システム工学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB68000 農業システム工学演習2(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB69000 フィールドロボティクス演習1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB70000 フィールドロボティクス演習2(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
EB71000 生物センシング工学演習1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EB72000 生物センシング工学演習2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC26000 熱帯農業生態学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC27000 熱帯農業生態学専攻実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC28000 土壌学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC29000 土壌学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC30000 微生物環境制御学専攻実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC31000 微生物環境制御学専攻実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC32000 生態情報開発学専攻実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC33000 生態情報開発学専攻実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC50000 施設機能工学実験1(5)	0	2	3	0	0	0	5	5	40.0%	100.0%	40.0%	100.0%	
EC51000 施設機能工学実験2(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC52000 水資源利用工学実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC53000 水資源利用工学実験2(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC54000 水環境工学実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC55000 水環境工学実験2(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC56000 農村計画学実験1(3)	0	3	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC57000 農村計画学実験2(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC58000 農業システム工学実験1(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC59000 農業システム工学実験2(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC60000 フィールドロボティクス実験1(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC61000 フィールドロボティクス実験2(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
EC62000 生物センシング工学実験1(4)	0	1	3	0	0	0	4	4	25.0%	100.0%	25.0%	100.0%	
EC63000 生物センシング工学実験2(5)	0	4	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%	
FA28000 食料・農業経済情報特論(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA41000 農業食料組織経営学1A(6)	0	5	0	0	0	1	6	5	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	16.7%
FA42000 農業食料組織経営学1B(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA43000 農業食料組織経営学2A(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA44000 農業食料組織経営学2B(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA45000 農業経営情報会計学1A(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA53000 食料・環境政策学1A(8)	0	8	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA54000 食料・環境政策学1B(12)	0	12	0	0	0	0	12	12	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA55000 食料・環境政策学2A(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA56000 食料・環境政策学2B(1)	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA57000 森林政策学1A(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA58000 森林政策学1B(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA59000 森林政策学2A(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA60000 森林政策学2B(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA65000 比較農史学1A(9)	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA66000 比較農史学1B(6)	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA67000 比較農史学2A(3)	0	2	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	
FA68000 比較農史学2B(2)	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA69000 農学原論1A(10)	0	7	0	0	0	3	10	7	100.0%	100.0%	70.0%	70.0%	30.0%
FA70000 農学原論1B(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA71000 農学原論2A(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA72000 農学原論2B(5)	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FA73000 比較農業経営論A(4)	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC24000 生物資源経済学特別講義IXA(7)	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
FC25000 生物資源経済学特別講義IXB(10)	0	6	4	0	0	0	10	10	60.0%	100.0%	60.0%	100.0%	

農学研究科入学定員充足率

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2（2016～2019年度、2020～2023年度）

<修士・博士（前期）課程>

研究科名	専攻名	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	入学定員に対する平均比率	備 考
農学研究科	農学専攻	志願者数	42	44	37	40	45	38	47	43	0.98	
		合格者数	35	37	31	30	40	31	36	31		
		入学者数	33	36	31	27	38	31	32	31		
		入学定員	33	33	33	33	33	33	33	33		
		入学定員充足率	100%	109%	94%	82%	115%	94%	97%	94%		
		在籍学生数	65	66	66	60	63	68	69	68		
		収容定員	66	66	66	66	66	66	66	66		
	森林科学専攻	収容定員充足率	98%	100%	100%	91%	95%	103%	105%	103%	1.16	
		志願者数	72	69	81	67	73	54	77	77		
		合格者数	63	57	64	52	63	50	71	67		
		入学者数	61	56	61	51	56	47	69	66		
		入学定員	48	48	48	48	48	48	58	58		
		入学定員充足率	127%	117%	127%	106%	117%	98%	119%	114%		
		在籍学生数	118	124	122	114	112	110	127	136		
	応用生命科学専攻	収容定員	96	96	96	96	96	96	106	116	0.99	
		収容定員充足率	123%	129%	127%	119%	117%	115%	120%	117%		
		志願者数	78	82	80	96	69	75	64	63		
		合格者数	67	66	72	79	57	63	60	56		
		入学者数	65	64	68	76	54	61	59	52		
		入学定員	63	63	63	63	63	63	63	63		
		入学定員充足率	103%	102%	108%	121%	86%	97%	94%	83%		
	応用生物科学専攻	在籍学生数	145	132	133	147	137	118	120	114	1.16	
		収容定員	126	126	126	126	126	126	126	126		
		収容定員充足率	115%	105%	106%	117%	109%	94%	95%	90%		
		志願者数	77	72	76	86	86	77	74	76		
		合格者数	58	63	56	63	71	66	64	66		
		入学者数	49	61	54	61	67	66	62	64		
		入学定員	52	52	52	52	52	52	52	52		
	地域環境科学専攻	入学定員充足率	94%	117%	104%	117%	129%	127%	119%	123%	1.18	
		在籍学生数	104	110	117	118	130	144	135	134		
		収容定員	104	104	104	104	104	104	104	104		
		収容定員充足率	100%	106%	113%	113%	125%	138%	130%	129%		
		志願者数	77	79	70	73	67	66	60	59		
		合格者数	68	66	55	66	58	58	54	51		
		入学者数	65	61	53	63	53	55	48	48		
	生物資源経済学専攻	入学定員	50	50	50	50	50	50	40	40	0.97	
		入学定員充足率	130%	122%	106%	126%	106%	110%	120%	120%		
		在籍学生数	132	137	127	120	118	115	105	103		
		収容定員	100	100	100	100	100	100	90	80		
		収容定員充足率	132%	137%	127%	120%	118%	115%	117%	129%		
		志願者数	37	30	32	27	35	34	42	25		
		合格者数	30	28	22	21	26	23	29	17		
食品生物科学専攻	入学者数	30	25	21	20	25	21	27	17	1.01		
	入学定員	24	24	24	24	24	24	24	24			
	入学定員充足率	125%	104%	88%	83%	104%	88%	113%	71%			
	在籍学生数	63	59	48	44	50	51	49	46			
	収容定員	48	48	48	48	48	48	48	48			
	収容定員充足率	131%	123%	100%	92%	104%	106%	102%	96%			
	志願者数	50	51	58	57	52	43	41	42			
修士・博士（前期）課程合計	合格者数	35	37	35	35	35	33	32	34	1.08		
	入学者数	33	36	34	32	33	32	32	34			
	入学定員	33	33	33	33	33	33	33	33			
	入学定員充足率	100%	109%	103%	97%	100%	97%	97%	103%			
	在籍学生数	67	74	73	70	67	67	66	67			
	収容定員	66	66	66	66	66	66	66	66			
	収容定員充足率	102%	112%	111%	106%	102%	102%	100%	102%			
修士・博士（前期）課程合計	志願者数	433	427	434	446	427	387	405	385	1.08		
	合格者数	356	354	335	346	350	324	346	322			
	入学者数	336	339	322	330	326	313	329	312			
	入学定員	303	303	303	303	303	303	303	303			
	入学定員充足率	111%	112%	106%	109%	108%	103%	109%	103%			
	在籍学生数	694	702	686	673	677	673	671	668			
	収容定員	606	606	606	606	606	606	606	606			
		収容定員充足率	115%	116%	113%	111%	112%	111%	111%	110%		

<博士(後期)課程>

研究科名	専攻名	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	入学定員に対する平均比率	備 考
農学研究科	農学専攻	志願者数	8	5	7	8	4	4	8	6		0.73
		合格者数	7	5	7	8	3	4	8	6		
		入学者数	7	5	7	7	3	4	8	6		
		入学定員	8	8	8	8	8	8	8	8		
		入学定員充足率	88%	63%	88%	88%	38%	50%	100%	75%		
		在籍学生数	21	20	22	17	18	14	20	16		
		収容定員	27	24	24	24	24	24	24	24		
	収容定員充足率	78%	83%	92%	71%	75%	58%	83%	67%			
	森林科学専攻	志願者数	17	12	10	12	10	18	18	14		0.74
		合格者数	17	12	9	12	10	18	18	14		
		入学者数	16	12	7	12	10	18	17	13		
		入学定員	17	17	17	17	17	17	20	20		
		入学定員充足率	94%	71%	41%	71%	59%	106%	85%	65%		
		在籍学生数	58	57	49	53	48	48	56	54		
		収容定員	56	51	51	51	51	51	54	57		
	収容定員充足率	104%	112%	96%	104%	94%	94%	104%	95%			
	応用生命科学専攻	志願者数	11	16	11	18	10	17	12	18		0.80
		合格者数	11	16	11	18	10	17	12	18		
		入学者数	10	16	11	17	9	17	11	18		
		入学定員	17	17	17	17	17	17	17	17		
		入学定員充足率	59%	94%	65%	100%	53%	100%	65%	106%		
		在籍学生数	43	41	41	43	41	45	43	47		
		収容定員	56	51	51	51	51	51	51	51		
	収容定員充足率	77%	80%	80%	84%	80%	88%	84%	92%			
	応用生物科学専攻	志願者数	13	10	8	15	15	14	16	12		0.71
		合格者数	13	10	7	15	15	14	15	12		
		入学者数	13	10	6	15	13	14	14	12		
		入学定員	17	17	17	17	17	17	17	17		
		入学定員充足率	76%	59%	35%	88%	76%	82%	82%	71%		
		在籍学生数	41	37	35	35	39	43	52	45		
		収容定員	57	51	51	51	51	51	51	51		
	収容定員充足率	72%	73%	69%	69%	76%	84%	102%	88%			
	地域環境科学専攻	志願者数	16	20	13	7	13	16	10	13		0.90
		合格者数	15	19	13	7	13	16	10	13		
		入学者数	15	19	13	7	11	15	10	12		
		入学定員	15	15	15	15	15	15	12	12		
		入学定員充足率	100%	127%	87%	47%	73%	100%	83%	100%		
		在籍学生数	56	62	57	47	40	38	34	34		
		収容定員	50	45	45	45	45	45	42	39		
	収容定員充足率	112%	138%	127%	104%	89%	84%	81%	87%			
	生物資源経済学専攻	志願者数	4	8	5	7	9	7	10	9		0.86
		合格者数	3	7	5	7	8	7	10	9		
		入学者数	3	7	4	7	8	7	10	9		
		入学定員	8	8	8	8	8	8	8	8		
		入学定員充足率	38%	88%	50%	88%	100%	88%	125%	113%		
		在籍学生数	28	25	21	23	26	28	35	37		
		収容定員	27	24	24	24	24	24	24	24		
	収容定員充足率	104%	104%	88%	96%	108%	117%	146%	154%			
	食品生物科学専攻	志願者数	5	2	3	3	5	2	7	5		0.45
		合格者数	4	2	3	3	4	2	7	5		
		入学者数	4	2	3	3	3	2	7	5		
		入学定員	8	8	8	8	8	8	8	8		
		入学定員充足率	50%	25%	38%	38%	38%	25%	88%	63%		
		在籍学生数	18	14	10	8	8	10	14	16		
		収容定員	27	24	24	24	24	24	24	24		
	収容定員充足率	67%	58%	42%	33%	33%	42%	58%	67%			
博士(後期)課程合計	志願者数	74	73	57	70	66	78	81	77		0.76	
	合格者数	70	71	55	70	63	78	80	77			
	入学者数	68	71	51	68	57	77	77	75			
	入学定員	90	90	90	90	90	90	90	90			
	入学定員充足率	76%	79%	57%	76%	63%	86%	86%	83%			
	在籍学生数	265	256	235	226	220	226	254	249			
	収容定員	300	270	270	270	270	270	270	270			
収容定員充足率	88%	95%	87%	84%	81%	84%	94%	92%				

アンケート名 農学研究科 学生による授業評価アンケート(R5前期)

部局 農学研究科

開講年度 2023

対象科目数 107

履修者数 2151

回答者数 445

回答率 20.7

結果 (Q.01) 授業の出席状況
 A: 全部出席 (317票/71.2%)
 B: 1 回欠席 (69票/15.5%)
 C: 2 回欠席 (31票/7%)
 D: 3 回欠席 (20票/4.5%)
 E: 4 回以上欠席 (8票/1.8%)
 F: 無回答 (0票/0%)



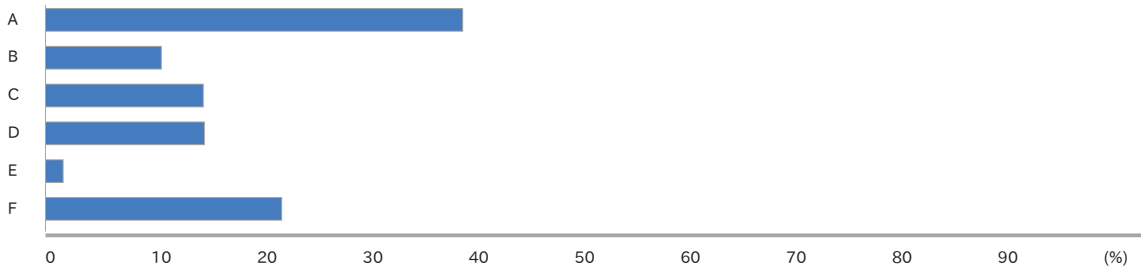
(Q.02) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間あたりの平均値）
 A: 2時間以上 (94票/21.1%)
 B: 1時間以上 (106票/23.8%)
 C: 30分以上 (108票/24.3%)
 D: 30分未満 (92票/20.7%)
 E: 学修していない (43票/9.7%)
 F: 無回答 (2票/0.4%)



(Q.03) シラバスを活用（使用）しましたか。
 A: はい (308票/69.2%)
 B: いいえ→Q 8へ (136票/30.6%)
 C: 無回答 (1票/0.2%)



(Q.04) Q3が「はい」の場合、活用した事柄を以下より選択してください。複数選択可
 A: 科目選択・履修登録 (244票/37.8%)
 B: 予習・復習 (68票/10.5%)
 C: 受講に当たり授業中など (92票/14.3%)
 D: 試験・レポート (93票/14.4%)
 E: その他 (10票/1.6%)
 F: 無回答 (138票/21.4%)

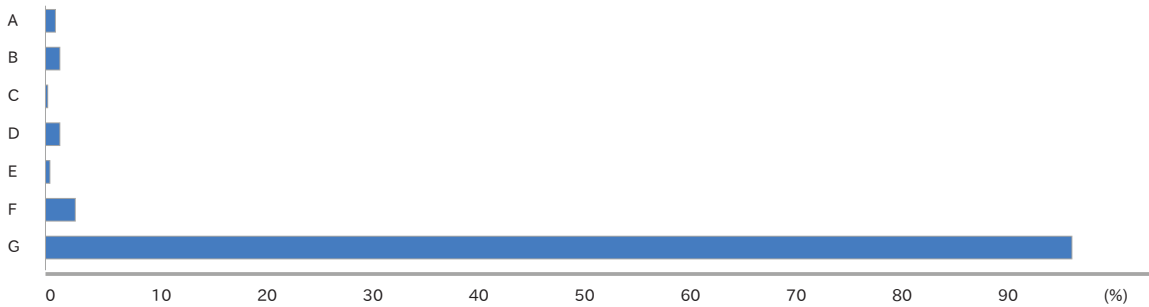


(Q.05) シラバスの情報は十分なものでしたか。
 A: はい (309票/69.4%)
 B: いいえ (10票/2.2%)
 C: 無回答 (126票/28.3%)



(Q.06) Q5が「いいえ」の場合、不十分であった項目を以下より選択してください。複数選択可

- A: 「授業の概要・目的」の情報 (4票/0.9%)
B: 「授業計画と内容」の情報 (6票/1.3%)
C: 「履修要件」の情報 (1票/0.2%)
D: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (6票/1.3%)
E: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (2票/0.4%)
F: 「その他」の情報 (12票/2.7%)
G: 無回答 (414票/93%)



(Q.07) シラバスに則した講義が行われていましたか。

- A: はい (314票/70.6%)
B: いいえ (8票/1.8%)
C: 無回答 (123票/27.6%)



(Q.08) この授業の内容はよく理解できた。

- A: そう思う (363票/81.6%)
B: どちらともいえない (64票/14.4%)
C: そう思わない (15票/3.4%)
D: 無回答 (3票/0.7%)



(Q.09) この授業はよく準備されており、体系的であった。

- A: そう思う (389票/87.4%)
B: どちらともいえない (38票/8.5%)
C: そう思わない (15票/3.4%)
D: 無回答 (3票/0.7%)



(Q.10) この授業の進行度は適切であった。

- A: 適切である (415票/93.3%)
B: 早すぎる (22票/4.9%)
C: 遅すぎる (8票/1.8%)
D: 無回答 (0票/0%)



(Q.11) 教科書やプリント、黒板やプロジェクターを用いた説明の仕方や話し方は適切であった。

- A: そう思う (398票/89.4%)
B: どちらともいえない (39票/8.8%)
C: そう思わない (7票/1.6%)
D: 無回答 (1票/0.2%)



(Q.12) 質問や意見を述べる機会が与えられ、それらに教員は適切に対応していた。

- A: そう思う (388票/87.2%)
- B: どちらともいえない (45票/10.1%)
- C: そう思わない (11票/2.5%)
- D: 無回答 (1票/0.2%)



(Q.13) 授業に対する教員の熱意を感じた。

- A: そう思う (395票/88.8%)
- B: どちらともいえない (45票/10.1%)
- C: そう思わない (3票/0.7%)
- D: 無回答 (2票/0.4%)



(Q.14) この授業で知的に刺激された。

- A: そう思う (373票/83.8%)
- B: どちらともいえない (56票/12.6%)
- C: そう思わない (14票/3.1%)
- D: 無回答 (2票/0.4%)



(Q.15) この授業は自分の学習にとって有益であった。

- A: そう思う (381票/85.6%)
- B: どちらともいえない (50票/11.2%)
- C: そう思わない (12票/2.7%)
- D: 無回答 (2票/0.4%)



(Q.16) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (22票/4.9%)
- B: 選択肢 2 (3票/0.7%)
- C: 選択肢 3 (3票/0.7%)
- D: 選択肢 4 (0票/0%)
- E: 選択肢 5 (0票/0%)
- F: 選択肢 6 (2票/0.4%)
- G: 無回答 (415票/93.3%)



(Q.17) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (11票/2.5%)
- B: 選択肢 2 (3票/0.7%)
- C: 選択肢 3 (3票/0.7%)
- D: 選択肢 4 (0票/0%)
- E: 選択肢 5 (0票/0%)
- F: 選択肢 6 (0票/0%)
- G: 無回答 (428票/96.2%)



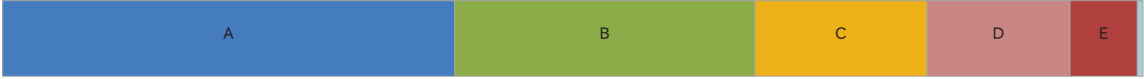
(Q.18) 自由記述

アンケート名	農学研究科 学生による授業評価アンケート(R5後期)
部局	農学研究科
開講年度	2023
対象科目数	458
履修者数	3163
回答者数	391
回答率	12.4

結果 (Q.01) 授業の出席状況
A: 全部出席 (306票/78.3%)
B: 1 回欠席 (44票/11.3%)
C: 2 回欠席 (19票/4.9%)
D: 3 回欠席 (9票/2.3%)
E: 4 回以上欠席 (13票/3.3%)
F: 無回答 (0票/0%)



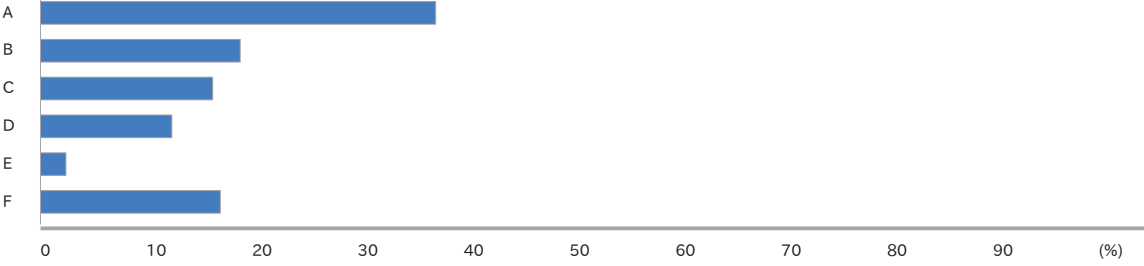
(Q.02) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間あたりの平均値）
A: 2時間以上 (155票/39.6%)
B: 1時間以上 (103票/26.3%)
C: 30分以上 (59票/15.1%)
D: 30分未満 (49票/12.5%)
E: 学修していない (23票/5.9%)
F: 無回答 (2票/0.5%)



(Q.03) シラバスを活用（使用）しましたか。
A: はい (283票/72.4%)
B: いいえ→Q 8へ (104票/26.6%)
C: 無回答 (4票/1%)



(Q.04) Q3が「はい」の場合、活用した事柄を以下より選択してください。複数選択可
A: 科目選択・履修登録 (244票/35.8%)
B: 予習・復習 (123票/18.1%)
C: 受講に当たり授業中など (106票/15.6%)
D: 試験・レポート (81票/11.9%)
E: その他 (16票/2.3%)
F: 無回答 (111票/16.3%)

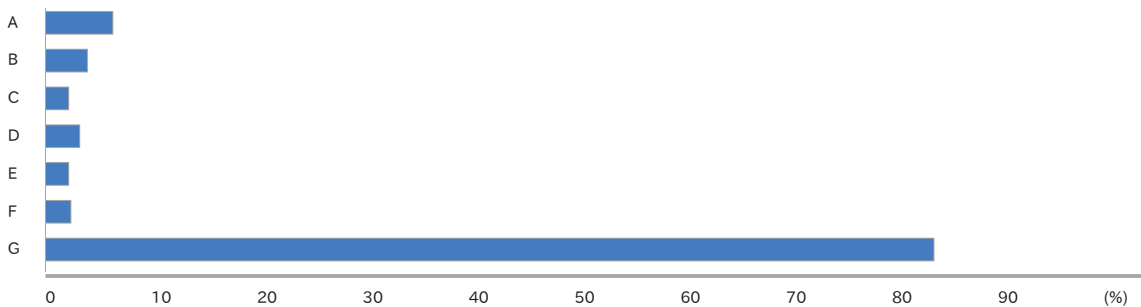


(Q.05) シラバスの情報は十分なものでしたか。
A: はい (292票/74.7%)
B: いいえ (4票/1%)
C: 無回答 (95票/24.3%)



(Q.06) Q5が「いいえ」の場合、不十分であった項目を以下より選択してください。複数選択可

- A: 「授業の概要・目的」の情報 (26票/6.1%)
B: 「授業計画と内容」の情報 (16票/3.8%)
C: 「履修要件」の情報 (9票/2.1%)
D: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (13票/3.1%)
E: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (9票/2.1%)
F: 「その他」の情報 (10票/2.3%)
G: 無回答 (343票/80.5%)



(Q.07) シラバスに則した講義が行われていましたか。

- A: はい (288票/73.7%)
B: いいえ (7票/1.8%)
C: 無回答 (96票/24.6%)



(Q.08) この授業の内容はよく理解できた。

- A: そう思う (342票/87.5%)
B: どちらともいえない (39票/10%)
C: そう思わない (7票/1.8%)
D: 無回答 (3票/0.8%)



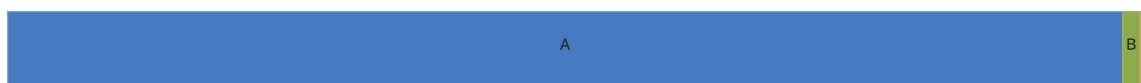
(Q.09) この授業はよく準備されており、体系的であった。

- A: そう思う (355票/90.8%)
B: どちらともいえない (31票/7.9%)
C: そう思わない (3票/0.8%)
D: 無回答 (2票/0.5%)



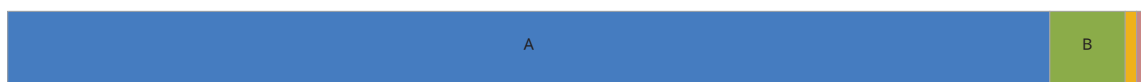
(Q.10) この授業の進行度は適切であった。

- A: 適切である (382票/97.7%)
B: 早すぎる (6票/1.5%)
C: 遅すぎる (1票/0.3%)
D: 無回答 (2票/0.5%)



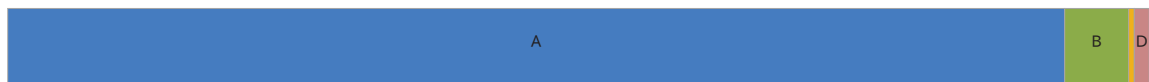
(Q.11) 教科書やプリント、黒板やプロジェクターを用いた説明の仕方や話し方は適切であった。

- A: そう思う (357票/91.3%)
B: どちらともいえない (26票/6.6%)
C: そう思わない (4票/1%)
D: 無回答 (4票/1%)



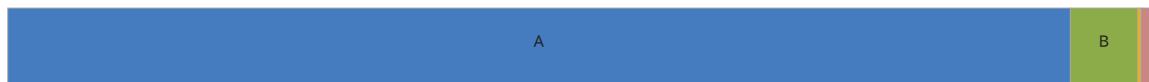
(Q.12) 質問や意見を述べる機会が与えられ、それらに教員は適切に対応していた。

- A: そう思う (362票/92.6%)
B: どちらともいえない (22票/5.6%)
C: そう思わない (2票/0.5%)
D: 無回答 (5票/1.3%)



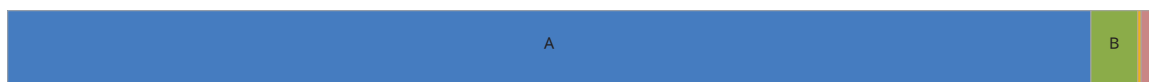
(Q.13) 授業に対する教員の熱意を感じた。

- A: そう思う (364票/93.1%)
B: どちらともいえない (23票/5.9%)
C: そう思わない (1票/0.3%)
D: 無回答 (3票/0.8%)



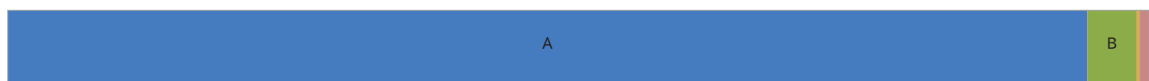
(Q.14) この授業で知的に刺激された。

- A: そう思う (371票/94.9%)
B: どちらともいえない (16票/4.1%)
C: そう思わない (1票/0.3%)
D: 無回答 (3票/0.8%)



(Q.15) この授業は自分の学習にとって有益であった。

- A: そう思う (370票/94.6%)
B: どちらともいえない (17票/4.3%)
C: そう思わない (1票/0.3%)
D: 無回答 (3票/0.8%)



(Q.16) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (24票/6.1%)
B: 選択肢 2 (2票/0.5%)
C: 選択肢 3 (2票/0.5%)
D: 選択肢 4 (3票/0.8%)
E: 選択肢 5 (1票/0.3%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (359票/91.8%)



(Q.17) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

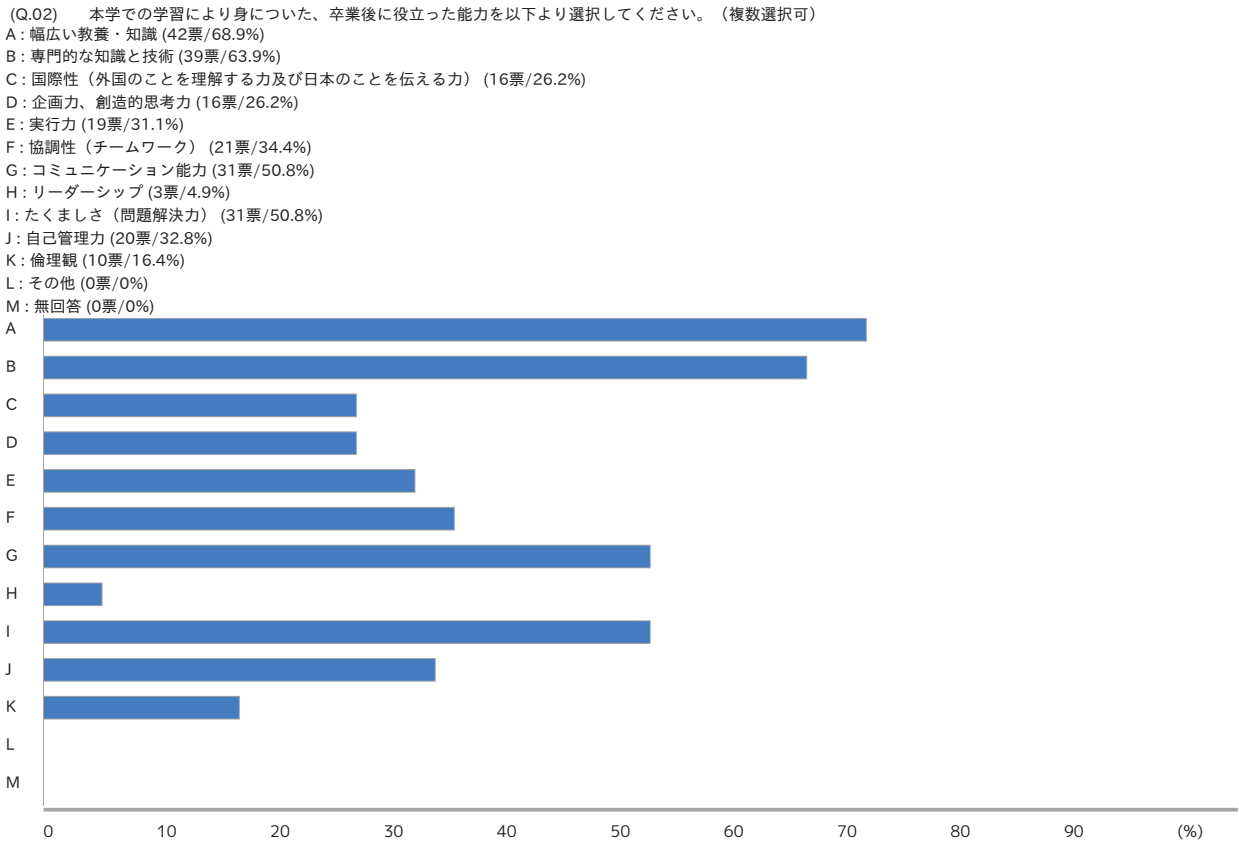
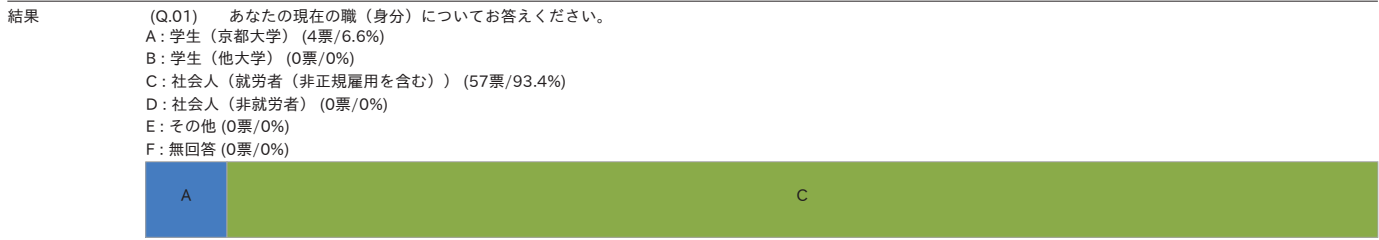
「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (19票/4.9%)
B: 選択肢 2 (2票/0.5%)
C: 選択肢 3 (4票/1%)
D: 選択肢 4 (4票/1%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (362票/92.6%)



(Q.18) 自由記述

アンケート名	令和元年度修了者（農・修士課程）へのアンケート
部局	農学研究科
対象者数	204
回答者数	61
回答率	29.9



(Q.03) 本学での学習について、特にどのようなところが良かったかなどについて、自由に記載願います。

別紙のとおり

(Q.04) 本学での学習では身につかなかった能力を以下より選択してください。(複数選択可)

A: 幅広い教養・知識 (3票/4.9%)

B: 専門的な知識と技術 (3票/4.9%)

C: 国際性 (外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力) (22票/36.1%)

D: 企画力、創造的思考力 (15票/24.6%)

E: 実行力 (5票/8.2%)

F: 協調性 (チームワーク) (13票/21.3%)

G: コミュニケーション能力 (8票/13.1%)

H: リーダーシップ (28票/45.9%)

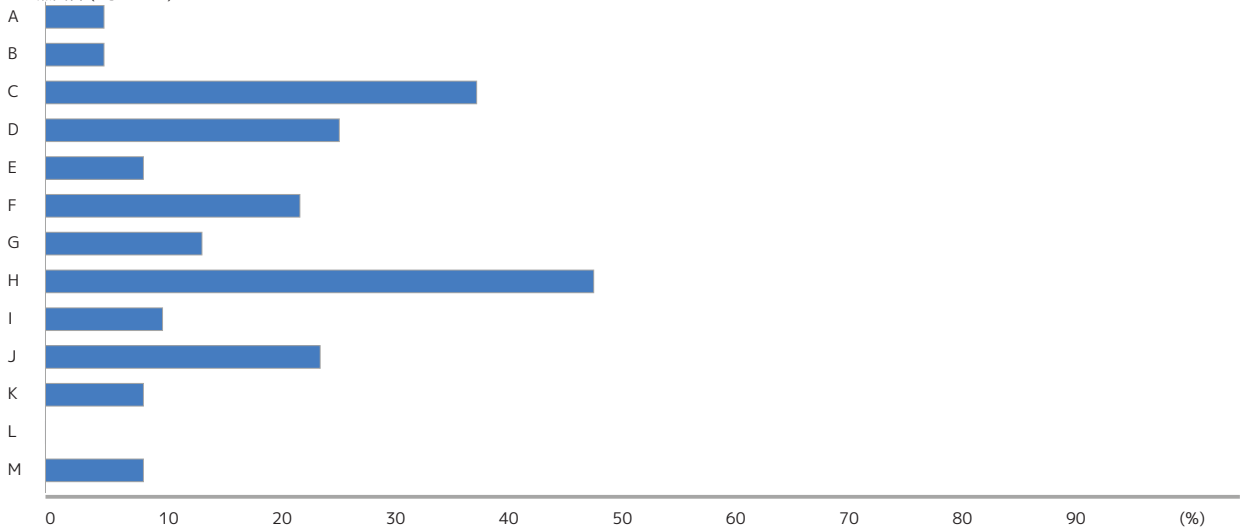
I: たくましさ (問題解決力) (6票/9.8%)

J: 自己管理力 (14票/23%)

K: 倫理観 (5票/8.2%)

L: その他 (0票/0%)

M: 無回答 (5票/8.2%)



(Q.05) 本学での学習について、特にどのようなところが不満もしくは改善を要すると感じたかなどについて、自由に記載願います。

別紙のとおり

(Q.06) 農学研究科における学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) の到達確認について
下記の Q 6～Q 9 に記載のディプロマ・ポリシーについて、ご自身の到達度を回答してください。

Q6生命現象のメカニズム、生物の生産と利用、地域のレベルから地球規模に至る環境保全、人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している。

A: 4 十分であった (11票/18%)

B: 3 どちらかといえば十分であった (34票/55.7%)

C: 2 どちらかといえば不十分だった (15票/24.6%)

D: 1 不十分だった (1票/1.6%)

E: 無回答 (0票/0%)



(Q.07) それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提起することを自らの使命と感じている。

A: 4 十分であった (15票/24.6%)

B: 3 どちらかといえば十分であった (31票/50.8%)

C: 2 どちらかといえば不十分だった (13票/21.3%)

D: 1 不十分だった (2票/3.3%)

E: 無回答 (0票/0%)



(Q.08) それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもっている。

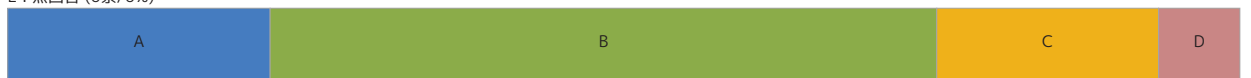
A: 4 十分であった (13票/21.3%)

B: 3 どちらかといえば十分であった (33票/54.1%)

C: 2 どちらかといえば不十分だった (11票/18%)

D: 1 不十分だった (4票/6.6%)

E: 無回答 (0票/0%)



(Q.09) 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

A: 4 十分であった (7票/11.5%)

B: 3 どちらかといえば十分であった (21票/34.4%)

C: 2 どちらかといえば不十分だった (28票/45.9%)

D: 1 不十分だった (5票/8.2%)

E: 無回答 (0票/0%)

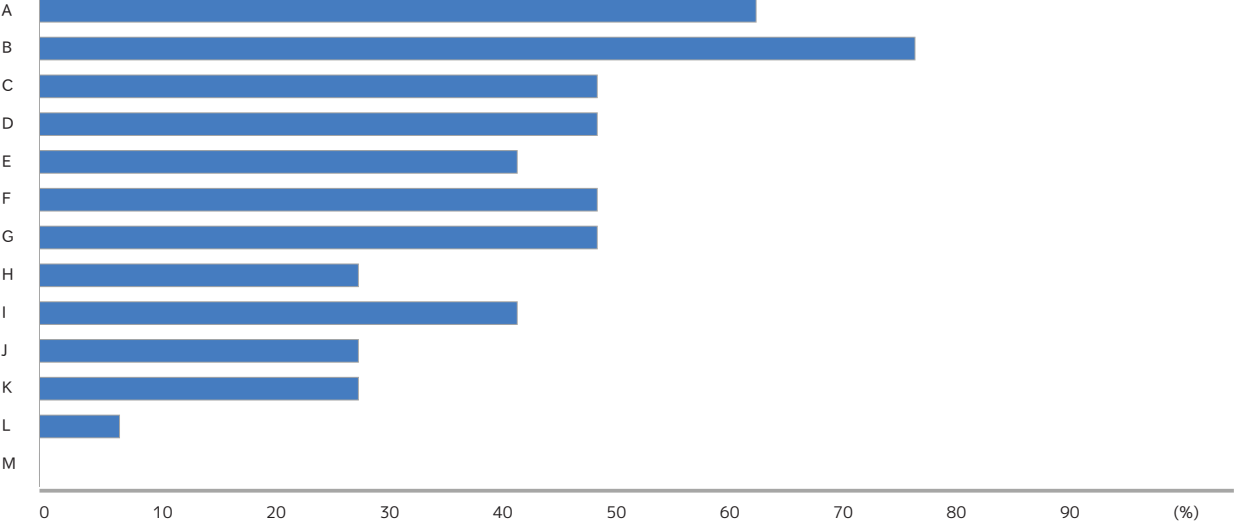


アンケート名	令和元年度修了者（農・博士後期課程）へのアンケート
部局	農学研究科
対象者数	29
回答者数	15
回答率	51.7

結果 (Q.01) あなたの現在の職（身分）についてお答えください。
A: 学生（京都大学）(0票/0%)
B: 学生（他大学）(0票/0%)
C: 社会人（就労者（非正規雇用を含む））(14票/93.3%)
D: 社会人（非就労者）(0票/0%)
E: その他(1票/6.7%)
F: 無回答(0票/0%)



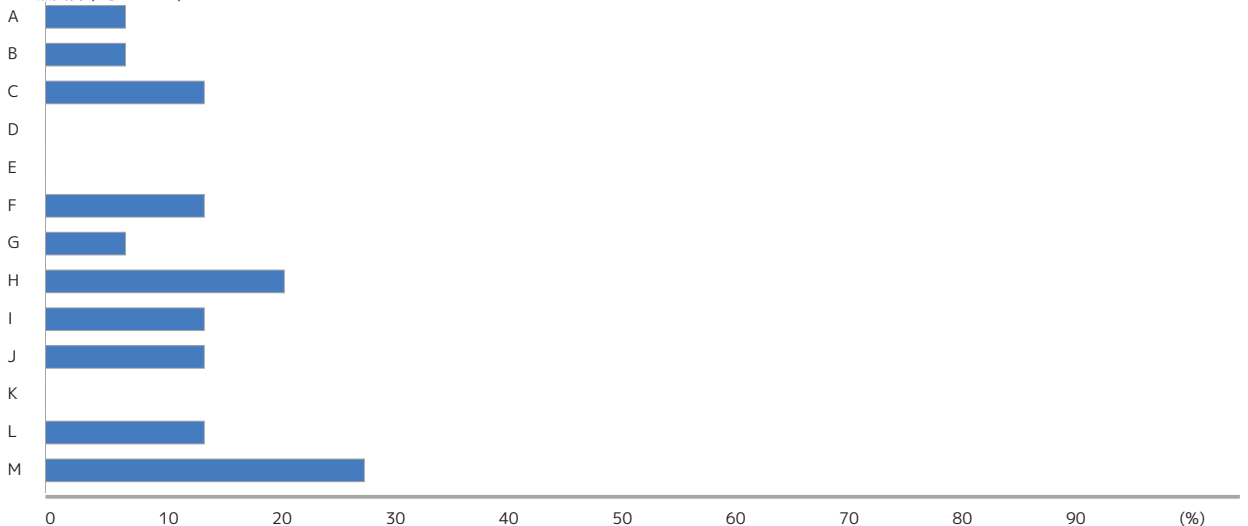
(Q.02) 本学での学習により身についた、卒業後に役立った能力を以下より選択してください。（複数選択可）
A: 幅広い教養・知識(9票/60%)
B: 専門的な知識と技術(11票/73.3%)
C: 国際性（外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力）(7票/46.7%)
D: 企画力、創造的思考力(7票/46.7%)
E: 実行力(6票/40%)
F: 協調性（チームワーク）(7票/46.7%)
G: コミュニケーション能力(7票/46.7%)
H: リーダーシップ(4票/26.7%)
I: たくましさ（問題解決力）(6票/40%)
J: 自己管理能力(4票/26.7%)
K: 倫理観(4票/26.7%)
L: その他(1票/6.7%)
M: 無回答(0票/0%)



(Q.03) 本学での学習について、特にどのようなところが良かったかなどについて、自由に記載願います。
別紙のとおり

(Q.04) 本学での学習では身につかなかった能力を以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 幅広い教養・知識 (1票/6.7%)
B: 専門的な知識と技術 (1票/6.7%)
C: 国際性 (外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力) (2票/13.3%)
D: 企画力、創造的思考力 (0票/0%)
E: 実行力 (0票/0%)
F: 協調性 (チームワーク) (2票/13.3%)
G: コミュニケーション能力 (1票/6.7%)
H: リーダーシップ (3票/20%)
I: たくましさ (問題解決力) (2票/13.3%)
J: 自己管理力 (2票/13.3%)
K: 倫理観 (0票/0%)
L: その他 (2票/13.3%)
M: 無回答 (4票/26.7%)



(Q.05) 本学での学習について、特にどのようなところが不満もしくは改善を要すると感じたかなどについて、自由に記載願います。

別紙のとおり

(Q.06) 農学研究科における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の到達確認について
下記のQ 6～Q 9に記載のディプロマ・ポリシーについて、ご自身の到達度を回答してください。

Q6 生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚を身につけ、人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献できる。

- A: 4 十分であった (6票/40%)
B: 3 どちらかといえば十分であった (9票/60%)
C: 2 どちらかといえば不十分だった (0票/0%)
D: 1 不十分だった (0票/0%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.07) それぞれの専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力を備えている。またその学識と技術・能力を基盤として独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開できる。さらにその成果を論文化する能力を有している。

- A: 4 十分であった (8票/53.3%)
B: 3 どちらかといえば十分であった (7票/46.7%)
C: 2 どちらかといえば不十分だった (0票/0%)
D: 1 不十分だった (0票/0%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.08) 必要に応じて国内外における他研究機関との共同研究を企画・実施するために、当該および関連分野の研究者に評価される論文を発表し、相互の理解を深化させるコミュニケーション能力を身につけている。

- A: 4 十分であった (8票/53.3%)
B: 3 どちらかといえば十分であった (6票/40%)
C: 2 どちらかといえば不十分だった (1票/6.7%)
D: 1 不十分だった (0票/0%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.09) 研究成果を国外に論文として発表し、国際会議で研究者と議論するなど、国際的研究活動を展開・推進する語学能力を身につけている。

A : 4 十分であった (5票/33.3%)

B : 3 どちらかといえば十分であった (10票/66.7%)

C : 2 どちらかといえば不十分だった (0票/0%)

D : 1 不十分だった (0票/0%)

E : 無回答 (0票/0%)



令和4年度京都大学大学院農学研究科修了時アンケート（集計結果）

基礎資料

回答者

	男	女	総計
農学	15	12	27
森林科学	21	21	42
応用生命科学	35	22	57
応用生物科学	39	20	59
地域環境科学	33	12	45
生物資源経済学	8	8	16
食品生物科学	12	18	30
修士（計）	163	113	276
農学	3	2	5
森林科学	4	4	8
応用生命科学	8	0	8
応用生物科学	6	1	7
地域環境科学	2	1	3
生物資源経済学	1	3	4
食品生物科学	0	0	0
博士（計）	24	11	35
総計	187	124	311

修了者

	男	女	総計
農学	15	12	27
森林科学	22	22	44
応用生命科学	35	22	57
応用生物科学	41	21	62
地域環境科学	33	12	45
生物資源経済学	10	9	19
食品生物科学	13	18	31
修士（計）	169	116	285
農学	3	2	5
森林科学	5	6	11
応用生命科学	8	0	8
応用生物科学	11	1	12
地域環境科学	2	1	3
生物資源経済学	2	3	5
食品生物科学	0	0	0
博士（計）	31	13	44
総計	200	129	329

* 博士は認定退学を含む。

回収率

	男	女	総計
農学	100.0%	100.0%	100.0%
森林科学	95.5%	95.5%	95.5%
応用生命科学	100.0%	100.0%	100.0%
応用生物科学	95.1%	95.2%	95.2%
地域環境科学	100.0%	100.0%	100.0%
生物資源経済学	80.0%	88.9%	84.2%
食品生物科学	92.3%	100.0%	96.8%
修士（計）	96.4%	97.4%	96.8%
農学	100.0%	100.0%	100.0%
森林科学	80.0%	66.7%	72.7%
応用生命科学	100.0%	-	100.0%
応用生物科学	54.5%	100.0%	58.3%
地域環境科学	100.0%	100.0%	100.0%
生物資源経済学	50.0%	100.0%	80.0%
食品生物科学	-	-	-
博士（計）	77.4%	84.6%	79.5%
総計	93.5%	96.1%	94.5%

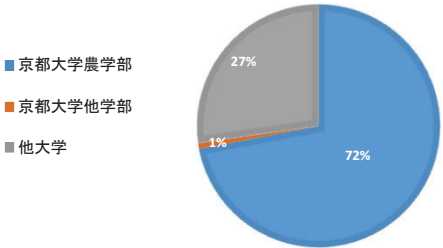
Q1 出身大学・学部（研究科）

	男	女	総計
京都大学農学部	122	76	198
京都大学他学部	2	2	4
他大学	38	37	75
修士（計）	162	113	275
京都大学農学研究科	17	6	23
京都大学他研究科	0	0	0
他大学	4	1	5
博士（計）	21	7	28
総計	183	120	303

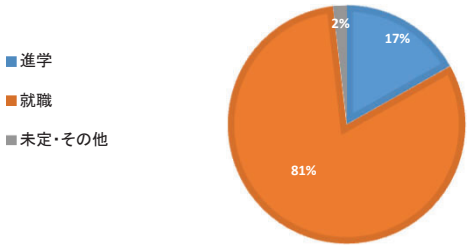
Q2 修了後の進路

	男	女	総計
進学	23	23	46
就職	136	86	222
未定・その他	2	3	5
修士（計）	161	112	273
進学	5	1	6
就職	18	7	25
未定・その他	1	3	4
博士（計）	24	11	35
総計	185	123	308

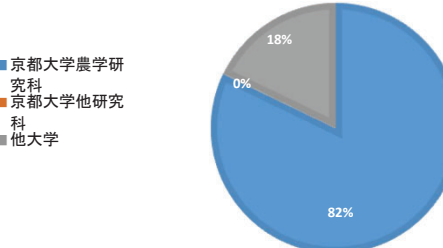
Q1出身大学・学部（修士）



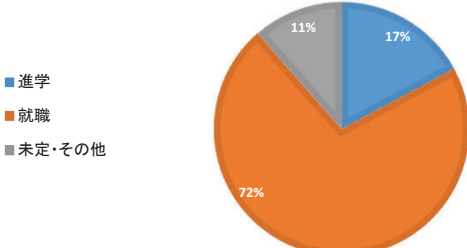
Q2修了後の進路（修士）



Q1出身大学院・研究科（博士）

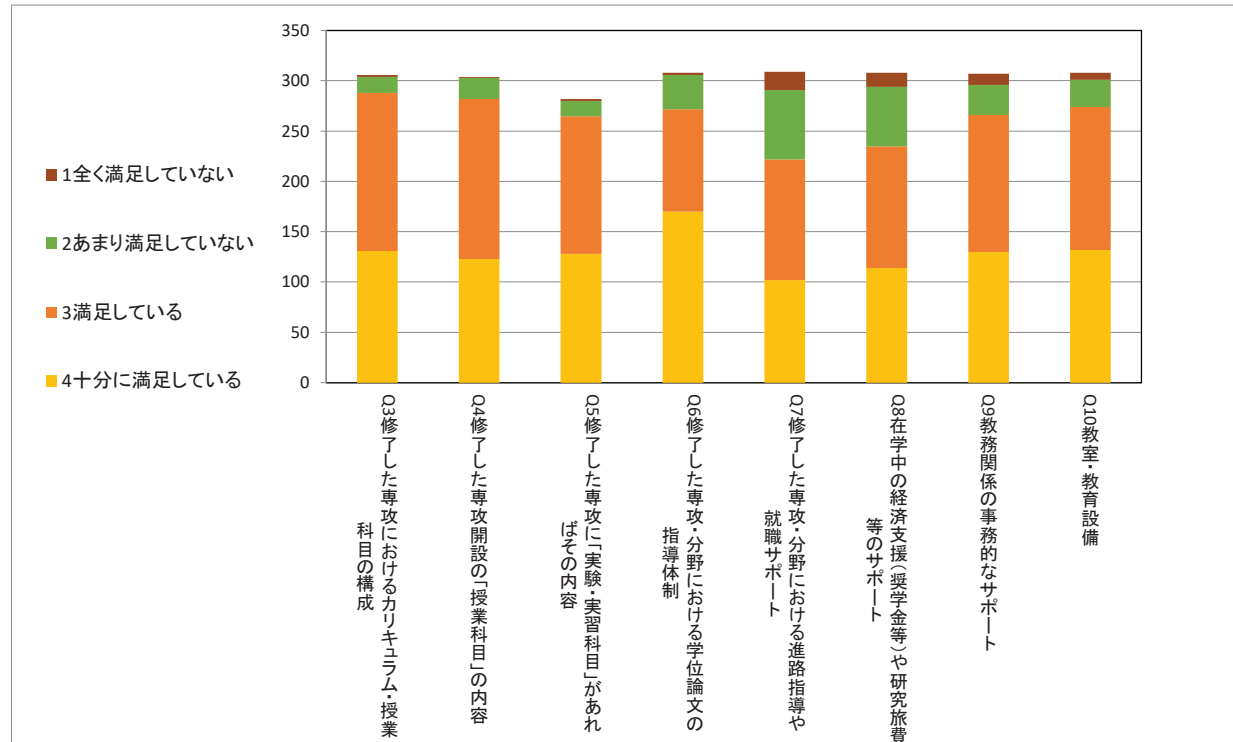


Q2修了後の進路（博士）



Q3～Q10 農学研究科の教育・研究、設備、サポート体制について（選択）

	Q3修了した専攻におけるカリキュラム・授業科目の構成	Q4修了した専攻開設の「授業科目」の内容	Q5修了した専攻に「実験・実習科目」があればその内容	Q6修了した専攻・分野における学位論文の指導体制	Q7修了した専攻・分野における進路指導や就職サポート	Q8在学中の経済支援（奨学金等）や研究旅費等のサポート	Q9教務関係の事務的なサポート	Q10教室・教育設備
4十分に満足している	131	123	128	170	102	114	130	132
3満足している	157	159	137	102	120	121	136	142
2あまり満足していない	16	21	15	34	69	59	30	27
1全く満足していない	2	1	2	2	18	14	11	7
平均値	3.4	3.3	3.4	3.4	3.0	3.1	3.3	3.3



Q7修了した専攻・分野における進路指導や就職サポート（専攻別）

○修士課程

	農学専攻	森林科学専攻	応用生命科学専攻	応用生物科学専攻	地域環境科学専攻	生物資源経済学専攻	食品生物科学専攻	小計
4十分に満足している	9	13	19	23	16	6	8	94
3満足している	12	18	23	22	18	5	8	106
2あまり満足していない	4	8	12	10	10	3	12	59
1全く満足していない	2	3	3	3		2	2	15
平均値	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	2.9	2.7	3.0

○博士後期課程

	農学専攻	森林科学専攻	応用生命科学専攻	応用生物科学専攻	地域環境科学専攻	生物資源経済学専攻	食品生物科学専攻	小計
4十分に満足している		3	1		2	2		8
3満足している	2	3	3	4	1	1		14
2あまり満足していない	3	2	2	3				10
1全く満足していない			2			1		3
平均値	2.4	3.1	2.4	2.6	3.7	3.0	—	2.8

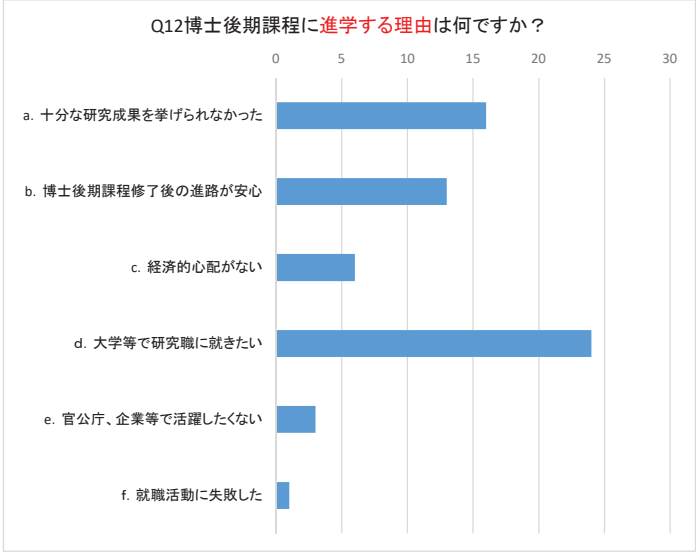
Q12 修士課程修了で進路が「進学」の方のみお答えください。

博士後期課程に進学する理由は何ですか？(複数回答可)

項目	修士
a. 十分な研究成果を挙げられなかった	16
b. 博士後期課程修了後の進路が安心	13
c. 経済的心配がない	6
d. 大学等で研究職に就きたい	24
e. 官公庁、企業等で活躍したくない	3
f. 就職活動に失敗した	1

その他(自由記述)

- ・研究を続けたかったから
- ・やりたい研究がまだ残っているから



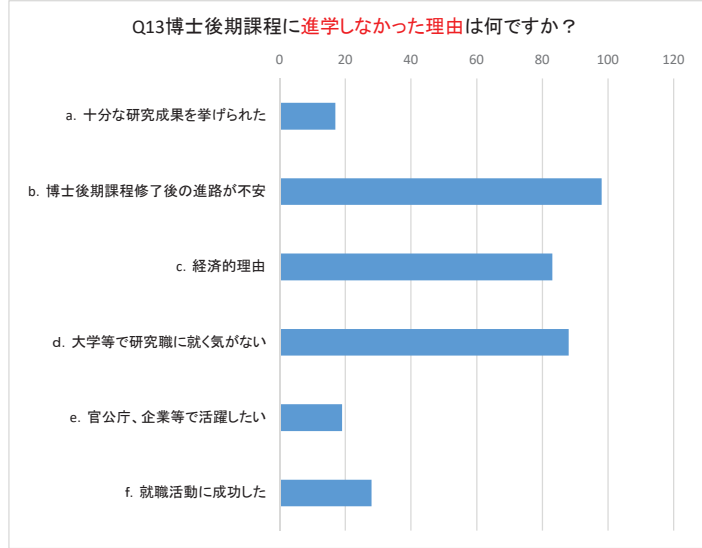
Q13 修士課程修了で進路が「就職」「未定・その他」の方のみお答えください。

博士後期課程に進学しなかった理由は何ですか？(複数回答可)

項目	修士
a. 十分な研究成果を挙げられた	17
b. 博士後期課程修了後の進路が不安	98
c. 経済的理由	83
d. 大学等で研究職に就く気がない	88
e. 官公庁、企業等で活躍したい	19
f. 就職活動に成功した	28

その他(自由記述)

- ・博士で結果を出せる自信がなかった
- ・別の職業に就く練習がしたい
- ・他大学での研究環境を求めた
- ・have been employed

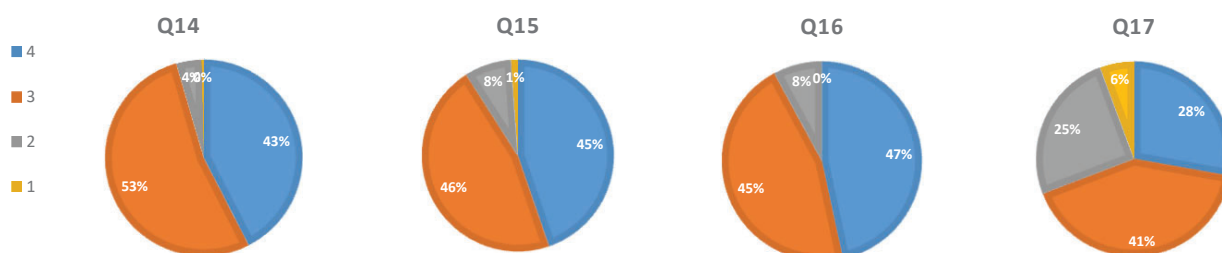


Q14～Q21 農学研究科における学位授与の方針の到達確認（ディプロマ・ポリシー）

下記の農学研究科ディプロマ・ポリシーQ14～Q17（修士）、Q18～Q21（博士）を達成するための教育体制について、1～4の評価のうち該当するものを選択してください。

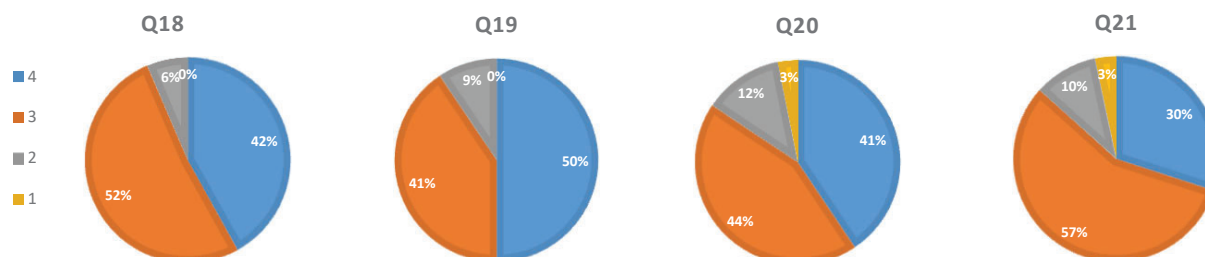
修士課程

	Q14 生命現象のメカニズム、生物の生産と利用、地域のレベルから地球規模に至る環境保全、人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得する。	Q15 それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提起することを自らの使命と感ずるようになる。	Q16 それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につける。	Q17 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。
4 十分であった	113	119	124	74
3 どちらかといえば十分であった	141	123	121	110
2 どちらかといえば不十分だった	11	21	21	67
1 不十分だった	1	3	0	15
平均値	3.4	3.3	3.4	2.9



博士後期課程

	Q18 生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚を身につけ、人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献する。	Q19 それぞれの専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力を備え、またその学識と技術・能力を基盤として独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開でき、さらにその成果を論文化する能力を身につける。	Q20 必要に応じて国内外における他研究機関との共同研究を企画・実施するために、当該および関連分野の研究者に評価される論文を発表し、相互の理解を深化させるコミュニケーション能力を身につける。	Q21 研究成果を国外に論文として発表し、国際会議で研究者と議論するなど、国際的研究活動を展開・推進する語学能力を身につける。
4 十分であった	13	16	13	9
3 どちらかといえば十分であった	16	13	14	17
2 どちらかといえば不十分だった	2	3	4	3
1 不十分だった	0	0	1	1
平均値	3.4	3.4	3.2	3.1



農学研究科修了生の就職先アンケート実施結果

農学研究科修了生の就職先が修了した学生の印象と以下の能力が備わっているかを5段階で評価

評価項目	⑤十分	④おおむね十分	③普通	②やや不十分	①不十分	合計	⑤+④ (%)	⑤+④+③ (%)
Q08 総合評価	49	27	2	0	0	78	97%	100%
[Q09 一般教養(大卒レベル)]	56	18	3	0	0	77	96%	100%
[Q10 専門知識とその活用能力]	55	20	2	0	0	77	97%	100%
[Q11 英語運用能力(文章読解、記述)]	25	37	13	1	0	76	82%	99%
[Q12 英語運用能力(会話)]	20	33	20	2	0	75	71%	97%
[Q13 国際性、異文化理解力]	20	35	20	1	0	76	72%	99%
[Q14 企画力、創造性]	33	32	11	1	0	77	84%	99%
[Q15 課題解決力]	43	30	3	1	0	77	95%	99%
[Q16 思考力・判断力]	50	23	4	0	0	77	95%	100%
[Q17 協調性、コミュニケーション能力]	28	38	8	2	1	77	86%	96%
[Q18 リーダーシップ]	21	39	14	2	1	77	78%	96%
[Q19 倫理観]	36	29	11	0	1	77	84%	99%
[Q20 責任感]	37	31	7	1	1	77	88%	97%
[Q21 多角的視点、広い視野]	35	36	5	1	0	77	92%	99%
[Q22 説明力]	44	27	6	0	0	77	92%	100%
[Q23 実行力]	31	37	8	1	0	77	88%	99%